

徳山高専だより

National Institute of Technology , Tokuyama College

2022年度
徳山工業高等専門学校 No.76

特集

23年ぶり ロボコン大賞2度目の受賞

— 紙飛行機に夢をのせて in 高専ロボコン2022 —

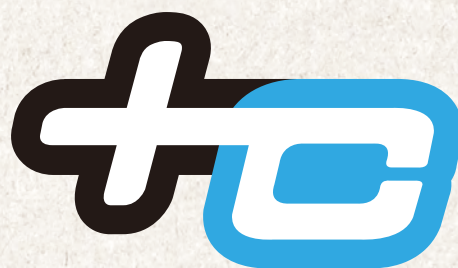


| | |
|----|----------------------|
| 02 | 巻頭言 |
| 03 | 23年ぶり ロボコン大賞2度目の受賞 |
| 05 | テクノロジーで共生社会の形成に挑み続ける |
| 06 | 未来を変えるためのKOSEN教育 |
| 07 | Look Back 2022 |
| 15 | 徳山高専生の挑戦！継続は力なり |
| 19 | 受賞・表彰ニュース |
| 21 | 今年の就職・進学状況 |
| 23 | 令和4年度就職・進学先一覧 |
| 24 | わたしの就職進学STORY |
| 28 | キャリア教育支援室より |
| 29 | 国際交流活動報告 |
| 31 | 高城寮より |
| 33 | 学生会活動 |
| 35 | 留学生だより |
| 37 | 高城会より／談ラン会／編集後記 |



雪の日

2023年1月25日、徳山高専の風景です。この日は10年に一度の寒波が到来し、徳山高専も雪に覆われました。安全面を考慮し、在宅でのオンライン授業に切り替えられました。



徳山高専

National Institute of Technology,
Tokuyama College

5つのC

1. **C**reation / 創造
2. **C**hallenge / 挑戦
3. **C**ooperation / 協働
4. **C**ommunication / コミュニケーション
5. **C**ritical thinking / 批判的思考

公式ホームページ



公式 Facebook



公式 YouTube



巻頭言

学びのデジタル活用からさらに先へ



徳山工業高等専門学校
校長
勇 秀憲

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の猛威は緩むことなく、2022年度もその対応に迫られました。本校では、学生と教職員の健康と生命を守る「安全と安心」を基本方針とし、「徳山高専COVID-19対策基本方針」に基づき、「徳山高専におけるNew Normal Standard」の行動基準と活動基準の各レベルを感染状況に対応して変更し、「学びを止めず」質保証された教育研究活動を行ってまいりました。

2022年度は4月当初から、ようやく通常の対面授業を始め、夏の全国的な感染拡大の第7波、11月頃からの第8波の中で、感染防止対策を徹底しながらwithコロナの学校活動を行ってまいりました。

高専機構モデルコアカリキュラム(MCC)(注1)による質保証の基で、積極的にICTを活用し教育効果を高めた教育研究活動のデジタル活用改革(DX:デジタル・トランスフォーメーション)がコロ

ナにより推進されましたが、今まさにそれを定着していくステージに移っています。

高専統一ネットワークの整備 授業コンテンツの高専間共同利用、学校でのBYOD(注2)、万全な情報セキュリティ対策や各種教育データの適切な活用など、教員の授業スキルの継続した改善をこれまでに推進していかねばなりません。

学生同士、学生と教職員などが互いに対面で接することは非常に重要で決して欠かせません。学生への迅速で適切な学習支援、メンタル支援などはもちろん学校一体となって取り組むことが必要です。

今後の予測不可能なSociety 5.0時代では、普遍的で専門的な知識・スキルと汎用的技能(MCC分野横断的能力)を幅広く身に付けること、また時代の変化に合わせて社会を積極的に支え、論理的思考力を持つてそれを改善していく資質を育むことが、学校教育においても求められます。学生

(注1)高専機構モデルコアカリキュラム(MCC:Model Core Curriculum):国立高専における教育の質を保証し、高専の全学生が到達すべき目標としての最低限の能力水準と具体的な修得内容を示す「コア」と、高専教育のより一層の高度化を図るための指針となる「モデル」を示したもの。

(注2)BYOD(Bring Your Own Device):一人ひとりが個人所有の携帯端末を学校(仕事場)に持ち込み、授業(業務)などに使用すること。

(注3)STEAM:Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(リベラルアーツ・教養)およびMathematics(数学)など文理融合により課題解決し創造する学び。

が「何を学び、何を身に付けることができるのか」という学修成果を一人ひとりに対し見える化した上で学びの多様性と柔軟性を確保し、それが生涯の学びにつながるようにするためには、学びは主体的で個別最適で協働的である必要があります。分野を越えたSTEAM(注3)教育やデータを活用する数理・AI・データサイエンス教育の学びもそれに寄与するでしょう。

本校では、こうした教育を加速的に展開しています。学生、教職員、保護者の方々や地域社会などが一体となり協働して、学生たちが楽しく「学び」、活発な諸活動ができる学校環境をさらに進めましょう。

校長としてこの7年間、本校の諸活動や環境整備などを適切に活発に推進してきたかどうかは分かりませんが、数年前から進む日本の教育改革を全国高専の中で積極的に主導してきたと確信しています。本校のさらなる発展を大いに期待しております。

23年ぶり ロボコン大賞2度目の受賞

紙飛行機に夢をのせて in 高専ロボコン2022

メカトロシステム部

機械電気工学科准教授 / 指導教員
 機械電気工学科准教授 / 指導教員

藤本 浩
 池田 将晃

今年度のテーマは「ミラクル☆フライ」空へ舞い上がれ！。舞い上がるのは(紙)飛行機です。指定された紙を使って接着剤や穿孔など一切の加工を施さなければ自由な形状の飛行機を利用できます。ロボットから放たれた飛行機が7つのスポットに着陸するか、横と縦に向けられた2つの円筒に入ることと得点となります。また、全ての円筒とスポットを確保した場合はVゴールとなり、その時点で勝利となります。飛行機は簡単に変形する上、気流や折り方にも影響されるため、ロボットが扱うことは容易ではありません。私達はこのテーマに2台のロボット、Aチーム「双宿双飛」(ソウシュクソウヒ)とBチーム「GOGO PLANE」で挑みました。

飛行機を再現性良く安定的に飛ばす方法としては、翼面積を小さくし、変形しにくいように固く折ることで、気流の影響を殆ど受けないミサイルのような飛ばし方が考えられます。実際、全国大会での上位チームはこの飛ばし方に加えて翼の後端を互いに反対方向に折り曲げることで回転を与えて命中率と飛距離を担保していました。その飛行姿勢は正にミサイルの様で、

目で追うことすらままならない速さで飛んでいきます。これに対して徳山A、Bの両チームはこの方法を採用せずに初めて紙飛行機を飛ばした時の感動を想起させるような美しい飛行姿勢でありながら、得点も狙えるロボットを目指しました。

Aチームは夏休み前までに発射機構のアイデアが固まっていたが、Bチームはアイデアの創出に大変苦悩していました。その上、夏休みに入り本格的な作業を開始した矢先に校内へ引き込まれている電源ケーブルの不良事故が発生したことから、一切の電気機器が使えなくなりました。この停電はその後1ヶ月近く続き、照明や空調をはじめとして、殆どの工作機械も動かすことができませんでした。そのため、昼間は熱中症に気をつけながら小型発電機からの電気を頼りに設計を進め、日が落ち始めると同時に作業を中断する日々が続きました。このようなことが重なってロボットの完成目処が立たなくなり、ロボコンを辞退することも考えていました。

その後、夏休み終盤に仮復旧となりましたがピンチは続きました。この時点で大幅に開発が遅れていたBチームのロボット

は大会当日までの完成は不可能だと思いを抱きながら、それでも諦めずに完成を目指していました。もう一方のAチームは停電前までに射出機構と装填機構の目処が付いていたため、停電中にロボット本体の設計がほぼ終了していたこともあり、仮復旧から2週間程度の短期間でほぼ完成までこぎ着けることができました。

中国地区大会は大会2週目の早い時期の開催だったことも影響して、Bチームは試合当日までロボットの調整を続けていましたが、結局間に合わず、初戦こそ判定で一勝したものの飛行機を射出することは叶いませんでした。

Aチームのロボットは150機の飛行機を積層して搭載できる発射機構を上下段にそれぞれ2機ずつ持つていて、競技時間内に600機の飛行機を射出することができます。ロボット名である「双宿双飛」には「2羽のつがい」が仲良く暮らし、一緒に羽ばたく」という意味があり、紙飛行機を鳥に見立て、上段と下段から鳥のつがいのように軽く軽やかに飛んでいくという世界観を表現しています。地区大会の時点ではVゴールできる機能はありませんでしたが、

他高専に大量得点を狙えるロボットがなかったため、毎試合2桁得点を取れる徳山Aチームが優勝を決めて全国大会への切符を手に入れました。その後、各地区大会の情報からVゴールできることが全国で戦うには必須であることが判明したため、下段の発射角度を変化させる機能を追加してVゴールできるようにしました。他にも飛行機の装填速度を速くしたり、足回りの再設計により強化を図るなどの改良を加えて全国大会に臨みました。

全国大会には25チームの精鋭が集まり地方大会で散見される未完成なロボット





は二台もありませんでした。会場となる両国国技館は見上げるように配置された観客席もあって、独特の緊張感が満ちていました。試合前日のテストランでは飛行機の飛距離が十分出ている、全てのトライアルでVゴールを決めることができました。対戦相手はくじ引きで決まりますが、くじ運が悪いのも徳山の伝統で、各地区の優勝校がひしめくトーナメントブロックに入つてしまい、初戦は九州沖縄地区優勝の徳山高専との対戦となりました。大分のロボットはミサイル射出タイプでVゴールを決めることができず、それほど早いタイムではなかったため徳山にとって十分な勝算がありました。ところが試合になると「双宿双飛」から放たれた飛行機は奥の円筒まで十分に届かず、苦戦を強いられることとなりました。これには試合当日の空調、観客、照明など様々な条件が不利な気流を引き起こしたと考えられます。徳山は善戦しましたが、1分40秒でついにVゴールを決められてしまい、初戦敗退となってしまいました。テストランでは1分以内にVゴールを決めることもできていたので非常に残念でした。それでも、初戦敗退とはなりませんがベスト8へのワイルドカードに期待してロボットの整備を続けました。そうした中で、「もう一度観たいロボット」として徳山がワイルドカードに選出されたときは、全員で歡喜しました。ただ、対戦相手はVゴールこそできませんが、3桁得点を連発している和歌山高専でした。大方の見方では試合にならないと思われていましたが、それで

も私達はVゴールできれば勝てると思っていました。試合は予想通り和歌山が次々と得点を積み上げていきました。徳山が途中で2つの円筒を残して他の全てのスポットに飛行機を乗せたところで、和歌山は手前スポットに乗せた徳山の飛行機を打ち落とす戦法に切り替えてきました。徳山は手前スポットの取り合いの間も円筒スポットを同時に狙い続けましたが惜しくも入れることができず、和歌山に対して作戦変更をさせるところまで追い込みました。残念ながら得点差を縮めることができず再び勝利することはできませんでした。

大会は奈良高専の「三笠」が優勝しました。「双宿双飛」で勝利できなかった心残りはありませんでしたが、表彰の最後に「今大会の競技テーマであるミラクルフライを最も実現したロボット」に与えられる「ロボコン大賞」として徳山高専がコールされた時は、5年間ロボットを作り続け、メカトロ部員を引つ張ってきた藤本樹宗君の目に涙があふれていました。「紙飛行機は紙飛行機らしく飛ばして勝ちたい。」その思いを実現に向けて頑張ってきた多くのメンバーの努力が報われた瞬間でした。後に、今回の大賞は審査員全員一致での受賞だったようで、「美しい」「心地よい」「ずっと見ていたい」など多くのコメントを頂きました。

ロボコン大賞はこれで2度目の受賞となります。最初の受賞から23年目にして新調された西陣織の大賞旗が再び徳山高専に戻ってきました。

テクノロジーで共生社会の形成に挑み続ける

社会の困り感を科学技術で低減する

教育研究活動の挑戦と成果

機械電気工学科 准教授 三浦靖一郎

遠い国の戦争が日本社会にも大きく影響したこの1年、身近な地域社会で「心をつなぐテクノロジー」として、支援技術(A.T. Assistive Technology)の教育研究と社会実装を継続的に推進してきました。現在30人以上の学生教職員が参画しているこの教育研究活動の中で、今回は3つの分野の進展を報告します。


1つ目は、ポッチャ競技支援です。重度障害者もポッチャを楽しめるように企業と共同で特許取得した視線入力対応ランプ装置(株式会社ユニコーン)と国産FRP製ランブ(株式会社ニシエフ)の改良・開発と競技普及活動が進展しています。8月にはJ2レノファ山口スタジアムPRブースに出展し、40組を超える家族等が体験されました。9月には広島福祉施設で参

議院議員の方に体験して頂きました。6月には本校の技術補佐員サンパスさんの出身国スリランカの駐日特命全権大使の視察が行われました。その後スリランカの防衛大学では、内戦で障害を負った方々がスポーツを楽しめるよう活用され始め、海外でも研究成果が広がりを見せています。

2つ目は、VR(Virtual Reality)活用支援です。数年連携してきた総合支援学校のVR活用事例は、今年度に山口県教育委員会の新規政策「特別支援学校におけるVR活用事業」に採択され、本校は事業外部委員として参画しています。8月に支援学校2校でVR研修会を実施し、VR教材開発も支援しています。主に特別支援教育でのVR活用の最新事例作り、

3つ目は、高齢者向けICT講座です。久米地区社会福祉協議会や久米市民センターの要望に応えて継続共催中の講座は、途中から周南公立大学も加わり、デジタル格差解消を促進する活動として市議会を取り上げられました。


ポッチャ体験会出展



VR研修会



高齢者向けICT講座



この事業は独立行政法人国立高等専門学校機構【高専発! 「Society5.0型未来技術人材」育成事業】「介護・医工」分野「持続可能な地域医療・福祉を支える」eAT-HUB構想とAT技術者育成による共生社会の実現(熊本(拠点校)・函館・仙台・長野・富山・徳山・新居浜)に採択されています。

これら3分野に加え、総合支援学校教員と連携した手話講座を連続して主催、企業と共同でプログラミング講座を主催などでも今後の発展が期待できます。私たちATチームは、誰も置き去りにしない共生社会を目指した持続可能な社会実装の最前線をこれからも走り続けます。

プログラミング講座に参加した光市の小学生の感想

「僕は人を感知したらLEDが付き、耳が聞こえない人でも危険な場所などを知らせるプログラミングを作りました。プログラミングで困っている人を助けたり、人の命を助けたりすることがすばらしいと思いました。」

徳山高専
ATチーム
QRコード



未来を変えるためのKOSEN教育

モデルコアカリキュラム「分野横断的能力って？」

皆さん、モデルコアカリキュラム（MCC）
C)って、知っていますか？

社会のさまざまな問題を解決し、ニーズに応えることができる技術者に必要な知識や能力には、次の四項目があります。

- ① 一般的な知識・技能、専門分野の知識・技能
- ② あらゆる分野に共通する技能（汎用的技能）
- ③ 学びや活動の基盤となる態度・志向性
- ④ 問題解決や課題達成に必要なとなる資質・能力

MCCはこのような技術者に必要な知識・能力を高専本科五年間で修得できるように到達目標を整理したもので、現行のMCCは二〇一九年に公開されています。現行のMCCの中で、「技術者が備えるべき分野横断的能力」(以下、分野横断的能力)として、次の三つの学習領域が設定されています。

- VII. 汎用的技能
- VIII. 態度・志向性(人間力)
- IX. 総合的な学習経験と創造的思考力

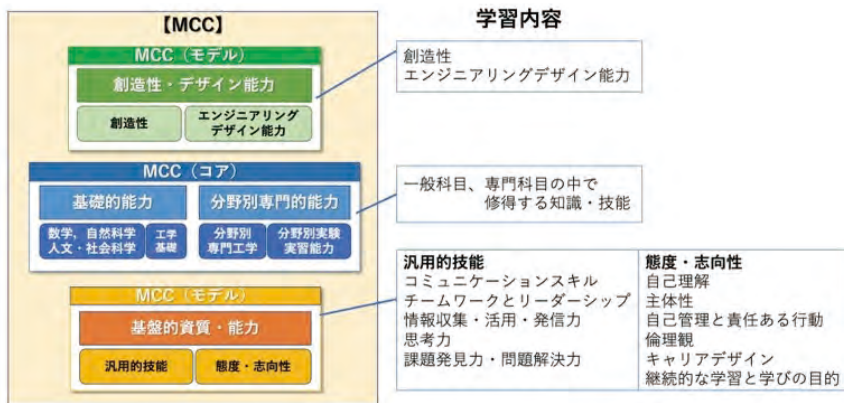
しかしながら、これらは性質の異なる三領域であり、これらを統合して「分野横断的能力」とすることは混乱を招く、また、複数の専門分野にまたがる活動を「分野横断的」と表現することがあり、誤解を招く原因となっているという指摘がありました。そこで、概ね五年ごとに改訂されている、次期モデルコアカリキュラム(二〇二三年四月に公開予定)では、図に示すように、コアカリキュラム(MCC(コア))とモデルカリキュラム(MCC(モデル))の二つに改定されています。

この中の、MCC(モデル)がこれまでの「分野横断的能力」を再構成したものであり、さらに、**基盤的資質・能力**と**創造性・デザイン能力**で構成されています。

基盤的資質・能力に含まれる汎用的技能・態度・志向性として、皆さんに身につけてもらいたい内容を図に示しています。これらの能力・技能は一般科目や専門科目の正課だけでなく、カリキュラムに含まれない活動、学生会活動などさまざまな活動が学習機会となり、それぞれの授業や活動の中で皆さんに力がつくように

教員が工夫しています。

来年度から新たに新設する科目、「課題発見解決プロジェクト」も**基盤的資質・能力**を低学年で養うことを目的にして



次期モデルコアカリキュラムの構成と学習内容

副校長
教務主事

西村 太志

います。この科目では、設定されたテーマに基づいて、他学科の学生と一緒に問題解決に取り組みます。

テーマに取り組むポイント

- 日頃から感じている問題(または発見した問題)に対して、解決策を通じて社会に貢献することを意識する
- 専門分野の異なる他学科のメンバーや、経験値の異なる他学年のメンバーが意見を出し合ってシェアする
- 実務が必要となる協働する能力と、チームの中で自分の個性や専門性を発揮する能力を磨く

自分の専門に関する知識だけでなく、いろいろなことに挑戦し、基盤的資質・能力や、創造性・デザイン能力を身につけましょう。

LEGIT

legit は、元々「合法の、正当な」という意味を持つ legitimate の省略表現で、「質が高い、ホンモノ」という意味のスラングです。

日本語で言えば、「マジで」とか「ガチで」に当たり、ネイティブスピーカーが何かかっこいいものやイケてるものを表す形容詞として日常的に使われています。

I love this music. It's totally legit. この音楽大好き。ホンモノだね。

今回は、令和4年度に新たに着任された一般科目の3名の先生方にインタビューを行い、先生方の legit な部分を引き出したいと思います。どんな legit が出てくるでしょうか。

LEGIT #01

佐藤勇貴先生



倉増.. いつも忙しくされている佐藤先生ですが、普段から教えるときに Motto にされていることってあるんですか？

佐藤.. Motto はありませんが、数学に限らず学問を楽しんで欲しいと思つて授業に臨んでいます。

倉増.. 大事なことです。ね、ほんと。教えていて楽しいと感じることって何かありますか？

佐藤.. 学生さんの目がキラキラしている時ですかね。興味を持って一生懸命聞いてくれている彼らの姿に感動することもあります。

倉増.. そういう姿が見れるのも、先生の教え方が上手なのもあるんでしょうね。そんな学生たちですが、先生にとって彼らはどんな印象ですか？

佐藤.. 教え方は勉強中です(笑)。学生さんに関しては本当にしっかりしていると思います。こちらが教えなくてもちゃんと色々としてくれる子たちが多くて感動しています。

倉増.. 感動しまくってますね(笑)先生ってホント良い人... 少し話は変わって、趣味や好きなこと、好きな食べ物とかでもあれば、教えてください。

佐藤.. 研究、甘いもの、芸術です。

倉増.. 普段から熱心に研究もされているので、糖分は必要ですよ。芸術って具体的には？

佐藤.. 全般的に好きですが、特に絵画が好きです。小さい頃、祖父のアトリエでよく遊んでいた影響が大きいのだと思います。

倉増.. なるほど、そうですね。ちなみにスポーツは何かされてましたか？

佐藤.. 水泳、バスケット、アーチェリー、器械体操と色々やりました。

倉増.. 先生ってむちゃむちゃ多彩なんですね(笑)。では、最後なんですけど、学生に一言メッセージをお願いします。

佐藤.. 高専生活を「全力」で楽しんでください！

倉増.. ありがとうございます！

多才な一面をお持ちであること、そしてとにかく優しい方であることが改めてよくわかりました。是非皆さんも佐藤先生と一度お話ししてみてください。



奥山広規先生

倉増.. 先生は島根県出身とお伺いしていますが、島根の好きなところって何ですか？

奥山.. 山口と一緒にですね(笑)。山陰の方は魚介が美味しいので羨ましいです。:

倉増.. 徳山に来られる前には広島商船におられたそうですが、徳山高専の印象って何ですか？

奥山.. 坂の上にあつて、自然にあふれていて、学内は穏やかな雰囲気であることです。広島は広島で好きでしたが、徳山の穏やかなムードはすごく好きですね。

倉増.. 徳山を気に入っていたというように良かったです。趣味とか好きなこととってありますか？あと好きな食べ物とか。

奥山.. 好きなことと言えば、漫画を読むことですかね。好きな食べ物は、豚汁、麻婆豆腐、炒飯が大好きで、何よりお酒が好きですね。あ、甘酒は不可です。

倉増.. お酒が好きなんですね。イメージ通りというか... あ、すみません(苦笑)。ちなみにスポーツとかつてされてたんですか？

奥山.. 高校時代は弓道部でした。あと、ボーリングが大好きです。

倉増.. 先生は海外に出て調査などされていますが、日本の伝統にも通じておら

れるんですね。ボーリングは意外でした。少し真面目な話に移りますが、奥山先生と言えば授業でも熱く語っておられ、熱血教師って感じがするんですが、教えるときに大事にしておられることってありますか？

奥山.. ただ覚えて終わるのではなく、覚えたことを踏まえて色々と考えてもらうことです。やはり覚えたことを実際に使った考えたり、何か表現したりしてもらいたいですね。

倉増.. ああ、すごく大事なことです。教えていて、楽しいと感じる瞬間ってありますか？

奥山.. 私が教えた断片的な知識が繋がって、大きな知識となっていくことを感じた瞬間ですね。私が毎授業で伝えたいメッセージを掴んでもらったなと感じたときは本当に嬉しいですね。

倉増.. なるほど、そうですね。同感です。もう最後になっちゃうんですが、学生に何か一言お願いします。

奥山.. 本当の理解には、座学と体験の両輪でたどり着くと思います。外国のことを中心に教えているので、ぜひ、外国に行つて、良いこと、悪いこと、様々な経験してください。

倉増.. 貴重なお時間ありがとうございました。

奥山先生の熱血な感じだけでなく、少し意外な側面も垣間見ることができました。話していただいてもう面白い先生です。もっともっと奥山先生を知りたいですね。



高槻侑吾先生

倉増.. 早速ですが、何か好きなことや趣味ってありますか？

高槻.. 半分仕事なんです(笑)、文学作品の舞台になった場所を巡ったり、各地の図書館や文学館で資料を集めたりすることですかね。

倉増.. 最近だと、どこに行かれたんですか？

高槻.. コロナになってからは全然行っていないです。コロナ前に行つてよかったのは東北大学附属図書館の漱石文庫ですね。論文を書くための資料を数日かけて探したんですが、探していたものが見つかったときは嬉しかったですし、探す作業自体も楽しかったですね。

倉増.. そうなんですね。仕事に興味みたいな感じですね(笑)。いま陸上部の顧問をされていますが、スポーツとかは何かされてたんですか？

高槻.. 小学生のときに硬式テニスを、中学生のときは陸上をしていましたね。どちらも体力作りがメインですが... (笑)。

倉増.. ああ、陸上をされてたんですね。部員たちは先生から色々教えてもらえますね。ちなみに、徳山高専の率直な印象を教えてください。

高槻.. 印象ではないかもしれませんが、学

生一人ひとりとしつかりかわれるところがいいなと思います。

倉増.. 確かに、そういう良さがありませんね。教えるときに大事にしておられることってありますか？

高槻.. そうですね。自分がかつて一人の学生であったことを忘れず、つねに学生目線に立った授業をすることですかね。

倉増.. 先生はお若いのに凄いですね。

高槻.. いえいえ、そういうわけではなくて、独りよがりの授業にならないように、自分を戒めているだけです(笑)。

倉増.. なるほど、いつも謙虚に。大事ですね。教えていて楽しいことってありますか？

高槻.. はい。授業中に学生が反応してくれるときや、グループワークしている学生たちの話を近くで聞いているときに楽しいですね。

倉増.. 学生が楽しく授業を受けてくれるのを見ると単純に嬉しいです。では、最後なんですけど、学生たちに何か一言お願いします。

高槻.. 授業や部活動を通して、みなさんのサポートができればと思っています。これからどうぞよろしくお願ひします！

いつも学校全体のことを気にかけてくださっている高槻先生ですが、今回のインタビューでより一層学生たちのことを考えてくださっているんだと感じました。

01 | 4年生研修旅行

機械電気工学科4年生が、9月20日～22日にかけて関東地方に研修旅行に行きました。コロナ感染症の影響により、過去2年間、先輩たちは研修旅行に行くことができておらず、今年度も本当に実施できるのかが心配されましたが、ホテルやバス等の感染対策を工夫しながら何とか計画を立てることができました。

ところが、出発前日に台風14号が通過し、出発日もその影響が東日本まで広がる予報であったため、直前まで実施が危ぶまれる状況でした。結局、鉄道の在来線がすべて運航中止となる中で新幹線だけは動いていたため、運よく予定通り実施をすることができました。

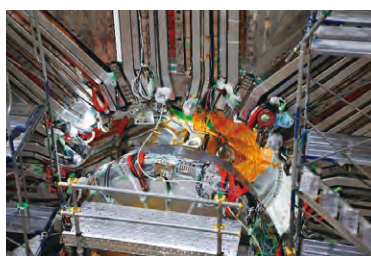
今年度は、これもコロナ感染症の影響から例年実施している民間施設の工場見学等ができず、代替として公共交通機関や公共施設の見学を中心とした日程となりました。初日は、新交通システムの日券を利用したお台場付近の自由見学および水上バスによる隅田川・東京湾クルーズを実施しました。2日目は、東京スカイツリーの見学を実施した後にバスでつくばに移動し、高エネルギー加速器研究機構およびつくば宇宙センターの施設見学を行いました。



隅田川・東京湾クルーズ 乗船場にて

特に、高エネルギー加速器研究機構では、普段はあまり見ることのない加速器を高所から見ることができ、良い経験となりました。最後の3日目の朝に、横浜のみなとみらいで現地解散となりました。

今年度は、旅行中や旅行前後の体温検査や自宅への帰宅日および訪問場所等の調査、帰還後の遠隔受講など、普段の年とは違い制限の多い研修旅行となりましたが、訪問場所での経験も含めて思い出に残る旅行となったものと思います。



高エネルギー加速器研究所にて



つくば宇宙センターにて

02 | 3年生施設見学



中国電力 島根原子力館にて

機械電気工学科3年生が、9月28日～29日に1泊2日で中国電力株式会社 島根原子力発電所の施設見学と、歴史的な施設である松江城および出雲大社に行きました。主な見学先である島根原子力発電所では、原子力発電の仕組みや厳重な安全基準への対応、環境への負荷を少なくするための取り組みを中心に説明を受け、専門科目の授業の内容がどのように役立てられているのかを確認し、実際の設備の規模を体感しました。

03 | 2年生施設見学

機械電気工学科2年生が、9月21日に中国電力株式会社 柳井発電所と中国電力ネットワーク株式会社 東山口変電所の施設見学に行きました。今後の専門科目の授業で学習する内容が実社会でどのように役立っているのかを確認し、実際の設備の規模を体感しました。また、発電所や近隣地域の安全と環境を守るための様々な対策や、ドローンを使った高い送電鉄塔の点検作業のデモンストレーションなどを見学しました。



中国電力 柳井発電所にて

04 | 教員紹介：橋爪善光 先生

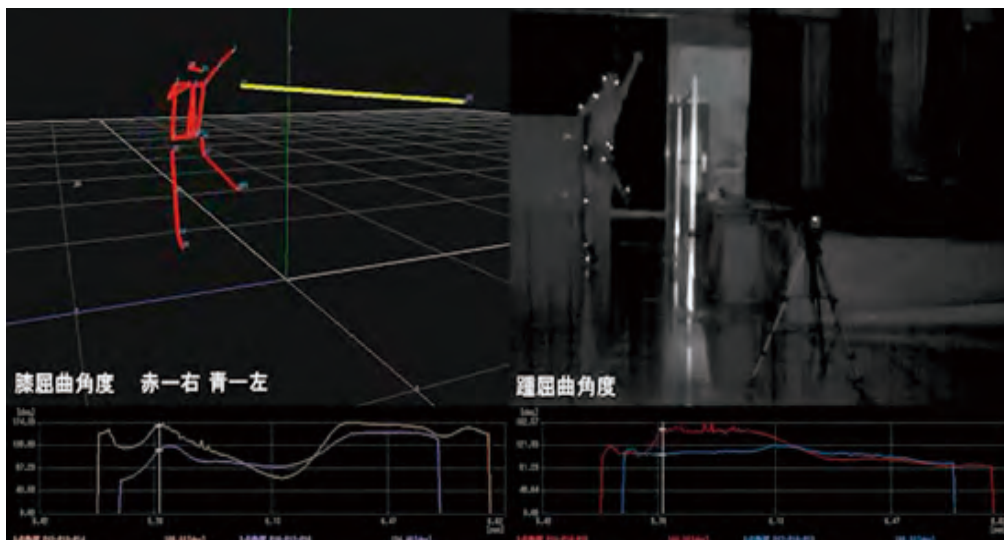
令和4年4月1日より機械電気工学科に着任いたしました橋爪善光と申します。専門はバイオメカニクスです。脳からの命令の結果である運動を計測し、データサイエンスの手法を駆使して脳はどのような命令をしているのか運動のコツを調べています。出身は東京ですが、大学入学以降山口→愛媛→山口→群馬→山口→福岡、そしてこの4月から山口県と、どこかへ行っては山口県に戻ってきており、山口県には縁があるなと感じております。前職は大学教員でしたが、他にも飲食店や整形外科病院で働いたり、フリーターをしたり等色々やってきました。高専は学生時代を含めて初めての環境で日々刺激を頂いております。皆さんと一緒に皆さん自身の高専生活やその後の社会人生活をよりよいものにしていただければいいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



歩行時のモーションキャプチャー実験



モーションキャプチャー撮影機材



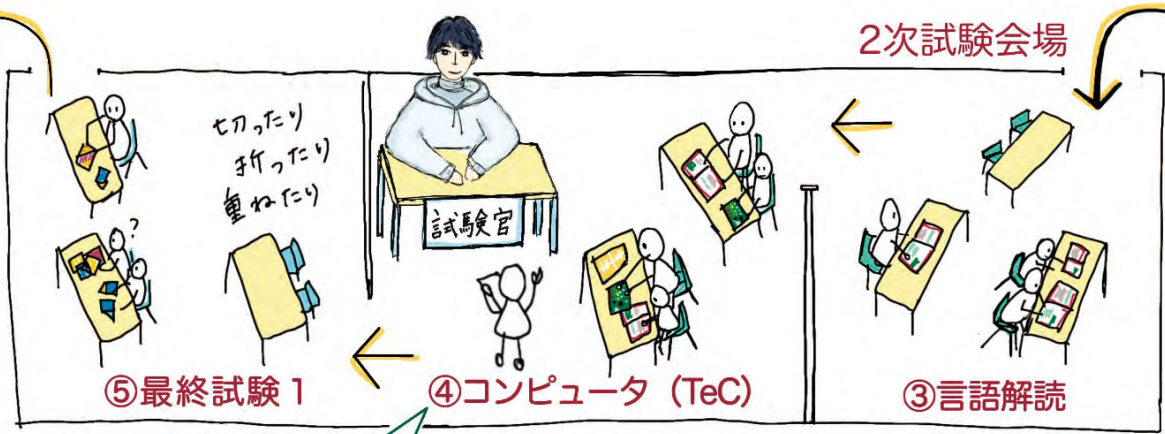
モーションキャプチャーの解析結果の一例

情報電子工学科

Department of Computer Science and Electronic Engineering

Look Back 2022

2次試験会場



謎を解いていくと...次の会場にたどり着く

①受付で謎解きキットを受け取る

まずは、この一次試験会場にある学科紹介・展示の情報をを使って謎を解いていこう。



TeCを操作し暗号を解く

TeC (徳山高専教育用コンピュータ)

1年生の時にはんだ付けして組み立て、本科1~4年生と専攻科の演習や実験で使う。



所要時間は2~3時間！
たっぷり楽しめる内容でした。

②謎を解きながら学内周遊

謎解きの様子を動画にまとめました→



03 | 学内プログラミングコンテスト開催

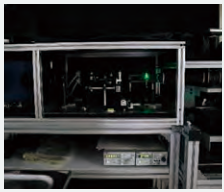
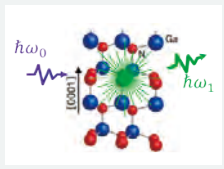
学内限定のプログラミングコンテスト「徳山高専最強は誰だ！プログラミング No.1 決定戦(2022年度)」を実施しました。プログラミング初学者が学外のコンテストやハッカソンに参加するための経験を積むことを目的として企画したものです。学科・学年の枠を超えて自身のスコアをリアルタイムランキングで表示しながらのプログラミングスキルの競い合いは大いに盛り上がりました。



徳山高専最強は誰だ！
プログラミング決定戦
2022年9月21日(水)
主催：徳山工業高等専門学校
協力：444株式会社

学科 Web ページ

情報電子工学科の最新情報を動画などで掲載しています。進路情報、卒業生のメッセージなどを御覧ください。



研究に使っている実験装置群

高専祭学科展示「周遊型謎解き」

高専祭学科企画は例年、5年生の創造製作の成果発表や、IEで習う技術を使って作ったロボットの展示などで学科について紹介しています。今年は久しぶりに外部の方の入場OKな高専祭ということで、「従来の展示を生かしつつ、謎を解きながら校内をめぐってIEのことを知ってもらおう!」というテーマの周遊型謎解きを5年生が中心となって企画しました。元素周期表・数学記号・フローチャート・QRコード・TeC等、高専とIEにちなんだものをたくさん使いつつ、知らない人でも解けるような謎になっています。

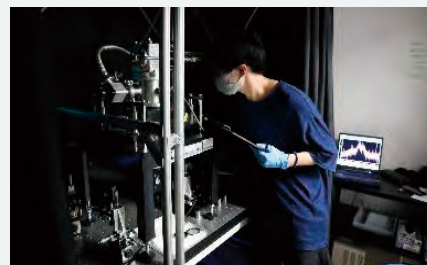


01 | IE 研修旅行

台風の間をぬいっつ、3年ぶりの研修旅行に行ってきました。コロナの影響で会社見学は難しく、1日目はJAXA 筑波宇宙センター、Cyberdyne Studio、2日目は浅草観光、東京スカイツリー、東京ソラマチ散策、皇居前広場・皇居二重橋という日程でした。2年生からほとんどの学校行事が中止となる中、やっとクラスが仲間へと変わり始めました。

02 | 研究室紹介(室谷研究室)

室谷研究室では「光る半導体」について研究を進めています。レーザーや-269℃まで冷却できる装置を使って半導体の発光メカニズムを調べています。



土木建築工学科

Department of Civil Engineering and Architecture

Look Back 2022

窓から見える景色をつくるのが CA

成長する学生の授業風景
実習・演習科目から

1～3年次は専門科目と教養科目を中心に学び、3年次まで土木と建築、両方の内容を学びます。4年次からは自分自身の高めたい内容に応じて、土木、建築系に分かれ、応用へと学習内容が発展していきます。集大成としての卒業研究では、原稿無しで発表に挑みます！

集中測量実習 in グリーンステイなうら

3年生:集中測量実習(測量合宿)
(広大な地形と施設を測量し図面化する)
全国でも徳山高専土木建築工学科だけのオリジナルの伝統行事



1年生:工学デザイン基礎I(演習)
(住宅設計プランを考える・お互いにレビュー)



2年生:工学デザイン基礎II(演習)
(スタディ模型を製作中)



3年生:基礎工学実験(実験)
(鉄筋の切断・加工)



2年生:測量実習(実習)
(学内の測量で修行中!)



4年生:工学実験I(実験)
(パスタブリッジで競い合う)



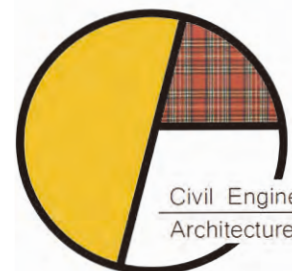
4年生:CAD応用(演習)
(3Dモデル・CGで構造物をつくる)

デザインする・つくる・発信していきます!

5年生:卒業研究
全員が1年間の研究成果を発表!



もっといっぱい!
土木建築工学科のHP



<https://tokuyamakosen-edu.note.jp/all>

今年は研修旅行でもとびきりの笑顔!

高専では専門分野に関連する企業見学や構造物・都市の見学を行う旅行形式の研修を行っています。
3年ぶりの研修旅行では、横浜、東京を周り、安全第一にそれぞれでも見学してきました!



都市だから観れる構造物をいっぱい観てきました!

活躍する専攻科生

本科5年間卒業後に、本校の専攻科：環境建設工学専攻へ進むと、学士(工学)=大学卒業となります。
本学科の専攻科生は学術研究の分野でも高い成果を残し、建設の学術分野においても多くの活躍をしています!

2022年度の学会研究発表での活躍の紹介



前田明日香さん(建築・都市デザイン)
若手優秀発表賞



浅田穂乃果さん(地盤工学研究室)
優秀論文発表賞 他デザコン等多数



浅田穂乃果さん(地盤工学)、熊本凌太さん(コンクリート工学)
三戸裕矢さん、本廣一輝さん(水理学)
若手優秀発表者賞、コメンテーター特別賞

共に活動する教員の紹介 Vol.01

学生のみさんと一緒に活動し、成長する本学科の教員を紹介します!

Q: 担当科目と研究内容を教えてください。

A: 担当科目は水理学基礎や水理学を担当しています。研究は河川構造物周辺の流れの解析を行っています。

Q: 徳山高専の良いところは?

A: 5年間を通して専門科目をじっくり学べるところや座学だけでなく実験や実習も多く、楽しく授業を受けることができます。学校行事もクラスマッチや高専祭、研修旅行などの様々なイベントがあります。



宇根 拓孝 先生

徳山高専土木建築工学科36期生
専門:水工学

Q: 授業以外の校務について教えてください。

A: 2022年度は、学生主事補とキャリア教育支援アドバイザーです。

Q: 高専生、中学生へのメッセージをお願いします!

A: 土木建築工学科は教育熱心な先生方ばかりで、勉強や進路の話以外にも日常生活の些細な相談にも乗ってくれますよ!

徳山高専生の挑戦！継続は力なり

炸裂！デザコン魂

青春って、すごく密なので。

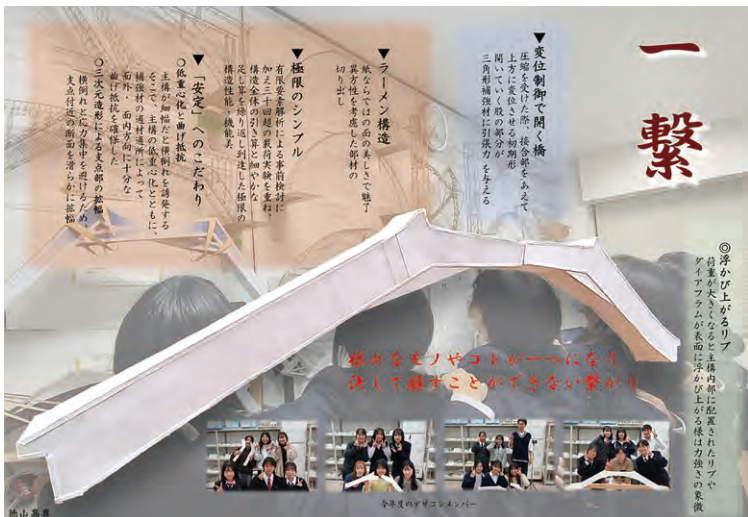
土木建築工学科教授／指導教員 海田 辰将



今年の構造デザイン部門のテーマは「新たなつながり〜ふたつでひとつ〜」。厚さや紙質が異なる4種類のケント紙と木工用ボンドを使ってスパン80cmの橋の模型を製作し、最大50kgの載荷試験が行われます。今回は、テーマ名の通り、作品は真ん中で2つに分割されていることが競技条件となっており、分割された橋を一つに繋ぐための接合方法が審査員評価点の大部分を占めていました。

さて、今年の構造デザイン部門に手を挙げた学生は52名！過去最大です。しかし、そこまでの活動場所も予算も無いことから断腸の思いで24名(4チーム)を選抜し、10月末の校内予選で本校代表として本選に出場する2チームを決定しました。

今年の構造デザイン部門の予選では、4チームとも50kgの耐荷重を見事にクリアし、わずかな重量差で勝敗が決まるといって、文字通り笑顔と涙が飛び交った激アツすぎる戦いを繰り広げてくれました。そして迎えた本選当日。本校の作品「繫(いっけい)」はブルーメランのような2つの部材を組み合わせたラーメン構造ですが、部材の圧縮力を利用したシンプルな突き合わせ継手や構造全体の変形を紙の引張強度で制御する技術が採用されており、その重さはわずか110gです。もう一つの作品「二猫(にこいち)」は、ソリッドリブアーチでありながら徹



底した合理性と3次元的な変断面を採用しており、「構造性能」と「可愛らしさ」を追求し、緊張感漂う会場に華を添えました。両作品とも見事に50kgの荷重に耐え切り、学生たちは大きな感動と達成感に包まれました。

結果として、一繫が全54作品の中で第3位となり、優秀賞(第3位)を獲得しました！リーダーの元永さんは壇上で言い切りました。「メンバー24人で頑張りました！みんなに感謝です。」デザコン魂はこうしてまた次の世代に受け継がれていくのです。

全国高専英語プレコン・中国地区高専英語弁論大会

一般科目 英語科助教 / 指導教員 柳本 萌子

徳山高専では、海外で活躍できる人材育成の一環として、「高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト」への参加に力を入れていきます。このコンテストでは、毎年1月末に開催される全国大会出場をかけた、各地域で地区大会が行われます。地区大会には、プレゼン・シングル部門と暗唱部門があり、このうち全国大会出場権を得るのは、『シングル部門の1位2位のみ』という厳しさです。また、プレゼン・チーム部門も予選として同

時期に動画による審査が行われ、上位約10チームのみが全国大会への切符を手にします。出場する学生は毎年10月〜11月に開催される大会の数ヶ月前から、発表原稿の作成や発音だけでなく、最高のパフォーマンスができるようにアイコンタクトやジェスチャーなど細部に渡って準備をします。

過去の実績

2021年度の大会は新型コロナウイルス感染症予防策の観点から、

地区大会、全国大会ともに動画による審査が行われました。中国地区大会暗唱部門には情報電子工学科1年(当時)市子原莉緒さん、プレゼン・シングル部門には土木建築工学科3年(当時)の長谷川京香さんと、機械電気工学科4年(当時)の手島徳己さんが出場しました。3人とも個性あふれる発表で審査員を惹きつけました。結果としては長谷川さんが2位に入賞し、全国大会への出場を果たしました。

2022年度のプレコン

2022年度の中国地区大会は2年ぶりに対面で開催されました。暗唱部門には機械電気工学科1年の三崎剛志さん、情報電子工学科2年の野口藍さんが、プレゼン部門には機械電気工学科2年の河内亮輔さん、情報電子工学科2年の市子原莉緒さんが出場しました。大会当日、最初は表情が固かった4名ですが、練習するうちにいつもの笑顔を取り戻し、落ち着いた

発表できていました。プレゼン部門の2人は質疑応答にもしっかりと答えることができました。プレゼン・チーム部門には、情報電子工学科4年の大西礼華さん、久原美桜さん、原田淳豊さんが出場し、「Society 4.0から5.0へ」をテーマに発表しました。予選はビデオ審査で行われ、結果は3項目中2項目で最高得点を獲得し、見事全国大会出場を果たしました。

プレコンの大会ポスター



参加者からのコメント

暗唱部門



機械電気工学科1年 三崎 剛志さん

この大会に出たことは、自分にとってとても意味のある経験になりました。一緒に参加した先輩や先生方からたくさん指導を受け、楽しかっただけでなく人間的に成長できたと思います。

情報電子工学科2年 野口 藍さん

高専祭の準備との両立で練習が思うように進まず不安でしたが、出場メンバーと切磋琢磨しながら練習を重ね、とても心強かったです。本番は緊張しましたが、堂々と発表できました。

プレゼン・シングル部門

機械電気工学科2年 河内 亮輔さん

弁論大会に出場して思ったことは、「何事にも挑戦するべきだ」ということです。一から文章を考え、その文章に合うようにPPTスライドを作成するのは大変でした。大会当日は他の高専生のスピーチからたくさん刺激をもらい、今後の英語力向上へのモチベーションが上がりました。

情報電子工学科2年 市子原 莉緒さん

発音練習も大変でしたが、伝えたいことを原稿とPPTスライドにまとめることは、想像以上に難しかったです。本番では、「正しい発音」を意識するだけでなく、感情を込めて話すことを意識しました。

プレゼン・チーム部門

情報電子工学科4年

大西 礼華さん
久原 美桜さん
原田 淳豊さん



今回プレコンに参加してとても貴重な体験ができました。発音やイントネーションはもちろん、分かりやすいPPTの作成やジェスチャーなど、たくさん学ぶことができました。今回の経験を今後活かしていきたいと思います。

インフラテックコン 地域賞&チャレンジ賞

今年も、徳山高専らしき、全開！ 初のW受賞を達成

土木建築工学科助教 / 指導教員 段下 剛志

35Navi けんせつ野郎&小町

What & Why: 山口県において... 建設業の若者不足 (27歳以下 70%)... 建設業の女性が少ない (7%)... 3歳未満の若者が30-40%... 高専生/大学生の県内就職率はたったの2割!

Output: 県内建設業の魅力をわかりやすく伝えるための動画制作... 県内建設業の魅力をわかりやすく伝えるための動画制作... 県内建設業の魅力をわかりやすく伝えるための動画制作...

Outcome: ①CSIS賞受賞 ②企業への広報 ③OJ活動の一環 ④ネット活動のイタリUP ⑤現場の士気向上

Feasibility: 山口県建設協会 山口県建設業協会 株式会社フラナヴィ

次世代のCo-緑(公園)、その名もハコ-エン

探究内容: 『電話ボックス』『ハコ-エン』が生み出す人を導く「攻めの魅力」と地産を守る「守りの魅力」

生みだす効果: ①新たな価値観の提供と地域コミュニティの形成... ②近隣住民にもたらす安心感... ③環境に配慮したまちづくりの推進... ④予算の削減... ⑤「引き継ぎ」され続ける公園に、これからの時代に代わり「足らぬ」を再発見

全国高等専門学校学校インフラマネジメントテクノロジーコンテスト、通称(インフラ)テックコンは、日本のインフラが抱える課題を解決するためのアイデアを競うコンテストです。2020年度から開催され、今年度で3回目の開催となりました。記念すべき第1回のテックコンを指導した教員(土木建築工学科海田辰将教授)とともに新たな指導教員(段下)も加わり、今年度は土木建築工学科1、2、4、5年生の中から12名の学生が集いました。

けんせつ野郎&小町の提案は、「いつでも、どこでも、何度でも。フラナヴィ」による現場見学のすゝめ。建設業界の担い手不足を解消するために、学生や市民に現場見学を通して魅力を知ってもらうことが大切だと考え、学生と業界の橋渡しができる現場見学の総合情報サイトである「フラナヴィ」を提案しています。Parkつと! プロビュアの提案は、「次世代のCo-緑(公園)、その名もハコ-エン」。様々な要因から引き算され続けている公園にこれからの時代に適した足し算をすることで地域の活性化に繋げることが大切だと考え、使われなくなった電話ボックスを活用して交流拠点や防災拠点に役立てるアイデアを提案しています。けんせつ野郎&小町は企業から特に高い評価を頂き、全19作品の中から地域賞を、

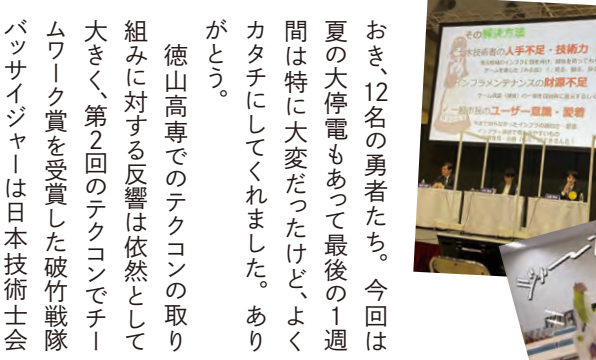
今回、総勢14名で掲げた提案コンセプトは「人づくり、まちづくり」。実はこの言葉、土木建築工学科の学科紹介ポスターでも使われている表現の一部です。「人づくり」チーム(チーム名:けんせつ野郎&小町/メンバー:齊藤遥奈さん、山根秀太さん、川邊颯大さん、吉津沙希さん、鶴田こゆきさん、豊島幸奈さん)と「まちづくり」チーム(チーム名:Parkつと!プロビュア/メンバー:菊野愛佳さん、兼坂亜季さん、長尾颯希さん、中

野遥菜さん、森本奏太さん、山田真尋さんの2チームを結成し、それぞれのチームが魅力あふれる提案をするための作品づくりに挑みました。けんせつ野郎&小町の提案は、「いつでも、どこでも、何度でも。フラナヴィ」による現場見学のすゝめ。建設業界の担い手不足を解消するために、学生や市民に現場見学を通して魅力を知ってもらうことが大切だと考え、学生と業界の橋渡しができる現場見学の総合情報サイトである「フラナヴィ」を提案しています。Parkつと! プロビュアの提案は、「次世代のCo-緑(公園)、その名もハコ-エン」。様々な要因から引き算され続けている公園にこれからの時代に適した足し算をすることで地域の活性化に繋げることが大切だと考え、使われなくなった電話ボックスを活用して交流拠点や防災拠点に役立てるアイデアを提案しています。けんせつ野郎&小町は企業から特に高い評価を頂き、全19作品の中から地域賞を、



Parkつと!プロビュアは特別賞であるチャレンジ賞を受賞し、初のW受賞を達成しました。審査に提出した提案動画は、徳山高専公式YouTube等にもアップロードされる予定ですので、是非ご覧下さい! テックコン初代王者のわくわくピーナッツから受け継がれている「真面目で斬新な提案と+αの悪ノリ」は、今回の提案動画でも健在です。この「徳山高専らしき」もW受賞に結びついたのでしよう。「前回に続いて今回も登場している緑色の格好した悪者が、まさか指導教員だなんて誰も気づきやしない!」というのは私のひとりごと。それはさておき、12名の勇者たち。今回は夏の大停電もあって最後の1週間は特に大変だったけど、よくカタチにしてくれました。ありがとう。徳山高専でのテックコンの取り組みに対する反響は依然として大きく、第2回のテックコンでチームワーク賞を受賞した破竹戦隊バツサイジャーは日本技術士会より依頼を頂き、オンライン講演を行いました。また、3年連続でテックコンに参加してきた山根秀太さんは、幕張メッセで開催された社会インフラテック2022にてパネリストとして登壇しました。テックコンが徳山高専のロボコン・デザコン・プロコンに続く第4の柱として、そして土木建築工学科のお家芸としての立ち位置を確立できるよう、これからも「テックコンやってみたい!」仲間を増やしていきたいです。

Parkつと!プロビュアは特別賞であるチャレンジ賞を受賞し、初のW受賞を達成しました。審査に提出した提案動画は、徳山高専公式YouTube等にもアップロードされる予定ですので、是非ご覧下さい! テックコン初代王者のわくわくピーナッツから受け継がれている「真面目で斬新な提案と+αの悪ノリ」は、今回の提案動画でも健在です。この「徳山高専らしき」もW受賞に結びついたのでしよう。「前回に続いて今回も登場している緑色の格好した悪者が、まさか指導教員だなんて誰も気づきやしない!」というのは私のひとりごと。それはさておき、12名の勇者たち。今回は夏の大停電もあって最後の1週間は特に大変だったけど、よくカタチにしてくれました。ありがとう。徳山高専でのテックコンの取り組みに対する反響は依然として大きく、第2回のテックコンでチームワーク賞を受賞した破竹戦隊バツサイジャーは日本技術士会より依頼を頂き、オンライン講演を行いました。また、3年連続でテックコンに参加してきた山根秀太さんは、幕張メッセで開催された社会インフラテック2022にてパネリストとして登壇しました。テックコンが徳山高専のロボコン・デザコン・プロコンに続く第4の柱として、そして土木建築工学科のお家芸としての立ち位置を確立できるよう、これからも「テックコンやってみたい!」仲間を増やしていきたいです。



ニューメディア部 活動記録

in 高専プロコン

機械電気工学科3年

餅山 歩武

今年度の全国高等専門学校第33回プログラミングコンテスト(以下高専プロコン)は、群馬工業高等専門学校が主催となり、群馬県高崎市にあるGメッセ群馬で10月15日〜16日に本選が開催されました。

私たちニューメディア部のメンバーは「VR集団行動」というシステムを提案しました。「VR集団行動」は日本体育大学が考案した集団行動というパフォーマンスを、VRゴーグルを装着して遠く離れた人を行うことができるシステムです。私たちは「オンラインで生み出す新しい楽しみ」というテーマに沿って開発されたシステムが審査される課題部門に「VR集団行動」を応募し、資料による選考で予選を通過しました。

本選では各高専が開発したシステムが展示しており、来場者がそれらを体験することができます。私たちも「VR集団行動」を展示し、このシステムに興



味を持つてくださった方に体験してもらいました。その際に「面白かった」や「いい運動になった」などの明るい意見をいただいて、ここまで頑張ってくれたことと感慨深い気持ちになりました。私たちが開発したシステムは敢闘賞を受賞しましたが、上位の賞を受賞することはできませんでした。しかし、多くの意見をいただき、他の高専のシステムに触れて、学べたことはいい経験になったと思います。この経験を活かして次回の高専プロコンも頑張りたいです。

パソコン甲子園2022

全国高等学校パソコンコンクール(パソコン甲子園)は、高等学校の生徒や高専の3年生までの学生を対象としたチーム対抗の競技大会です。

昨年度に続き情報電子工学科3年の棟近祐希さんと機械電気工学科3年の安仲巧真さんのチームがプログラミング部門に参加しました。

この部門では示された問題を解くプログラムを会場で時間内に作成し、正解の数と問題の難しさを順位が決まります。

9月10日にインターネット上で実施された予選では参加



本選の様子

505チーム中14位の素晴らしい成績で本選出場チームに選ばれました。11月5日に会津大学で実施された本選では35チーム中12位の好成績を残しました。



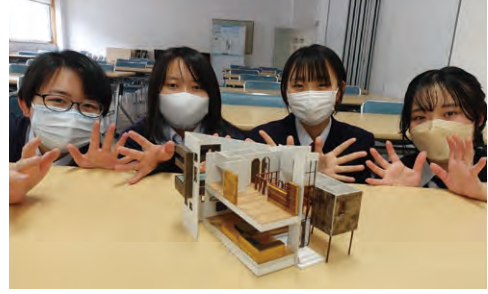
安仲さん(左)と棟近さん(右)

受賞・表彰ニュース



第1回世界ペーパーアーキテクト大賞2022
佳作

土木建築工学科 4年 中原 陸さん



第1回POLUS木造住宅インターハイ
造形・造作優秀5選

土木建築工学科 3年 田中 奏さん
江副 聖さん
筒本 琴音さん
中谷 怜奈さん



競技者育成プログラムStep2大会 第1位
ハイスクールジャパンカップ 第5位
国体山口県代表 選抜

機械電気工学科 2年 木村 颯さん



第72回電気・情報関連学会中国支部連合大会
情報処理学会中国支部奨励賞

情報電子工学専攻 2年 森本 水月さん



第4回バンフー学生トートバッグデザインコンテスト
審査員賞

土木建築工学科 4年 綾木 才子さん



第74回土木学会中国支部研究発表会
若手優秀発表者賞

環境建設工学専攻
熊本 凌太さん 三戸 裕矢さん
本廣 一輝さん 浅田穂乃果さん

コメンテーター特別賞

徳山高専チーム 丸橋 憲伸さん
熊本 凌太さん 松下 将也さん
三戸 裕矢さん 本廣 一輝さん



第57回地盤工学研究発表会 優秀論文発表者賞
令和4年度土木学会全国大会第77回年次学術講演会
土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰

環境建設工学専攻 1年 浅田穂乃果さん



第28回スーパーコンピューティングコンテスト
SuperCon2022 本選出場

情報電子工学科 3年 棟近 祐希さん
機械電気工学科 3年 児玉隆之介さん



SAWATAウッドデザイン賞2022
SAWATAウッドデザイン賞(大賞)

土木建築工学科 4年 綾木 才子さん
社長賞
土木建築工学科 3年 筒本 琴音さん
田中 奏さん
中谷 怜奈さん
土木建築工学科 1年 背戸 隼さん



第97回山口県体育大会水泳競技大会(高校の部)
男子団体優勝
中国高等学校新人水泳競技選手権大会 男子総合8位
水泳部



【受賞作】
けんかして
謝罪の念で書く手紙
落ちる涙で滲む「ごめんね」

第9回福岡女学院短歌コンクール 佳作

機械電気工学科 1年 白神 拓実さん



山口県体育大会陸上競技(高等学校の部)
女子総合8位
陸上部

三段跳 優勝/走高跳 2位
土木建築工学科 3年 林 真穂さん

今年就職・進学状況

就職か進学か

〜将来の自分の姿を考える〜

5年担任／機械電気工学科准教授

石田 浩一



令和4年度の機械電気工学科の進路状況は、最初に希望を取った時点で就職18名、進学19名でした。また、専攻科の受験を希望する学生も推薦を含め17名いました。今年は学生数が37名で例年と同程度でしたが、おそらく初めて進学希望者が就職希望者よりも多くなった年かと思えます。

今年度の企業の採用活動は、コロナの収束を見据えてか採用の意欲が高く、早くから求人案内がありました。企業の高専生の評価も非常に高く、求人600社程度ありました。高専生を採用したいがなかなか選んでもらえないとの話も人事の方からよく聞かれていました。今年度の特徴としては、県内企業からの問い合わせが例年よりもあったことです。もともと地元志向が強い学科ではあったのですが、県内就職の学生は9名で、就職希望の学生の半数となっています。今年度の企業の採用活動については、コロナ禍が続いている状態であるのでWebによる面接が多くありましたが、対面に移行する企業も増えたように感じます。また、採用の時期が早まっているようで、最

後の内定が5月中旬であったので例年に比べ1ヶ月程度早いと思います。また、ほぼすべての学生が1社目の企業からの内定となっています。

次に進学についてですが、例年になく厳しい年であったように感じます。本校だけでなく全国的に進学希望者が多いとの情報を企業の求人担当者から聞いており、受験状況からそれを確認する結果となりました。また、例年なら2次試験の発表がある時期に2次募集の告知がなく、厳しい年であったと再認識しました。

全体を通してですが、就職、進学どちらに進むとしても面接に対する準備は大事だと感じています。面接では自分がどのような人間なのかをアピールすることが非常に重要です。コロナ禍で色々な活動が出来ないため、話せる内容が少ない学生が増えてきていますが、その中で何が出来たのかを伝える事が大事です。少しでも自分をアピール出来るように高専生活を充実させて下さい。

就職・進学活動状況について

5年担任／情報電子工学科准教授

柳澤 秀明



令和4年度の情報電子工学科5年生の卒業予定者42名（男子27名、女子15名）の内、就職希望が29名、進学希望が13名でした。情報電子工学科29名の就職希望学生に対し、約600社からの求人票が届いており、面談した多くの企業の方から非常に高く高専生を評価していただいています。

今年度の情報電子工学科への求人の特徴としては、今までの情報系の仕事だけではなく、事務関係や工場内等でのDX化を担う人材を求めている企業が増えているように感じました。この傾向は、来以降も続くと思います。

一方で、就職活動の特徴としては、就活サイトへのエントリーを求める企業が増えた点や、オンライン説明会への参加（合同企業説明会等に参加していても）や決められた期間に動画視聴を求める企業が増えた点があげられます。

就活サイトにエントリーすることで、学生と企業の方がチャットやメールで直接連絡を取ることが増えました。当然ながら企業の方と連絡を取る場合は、ビジネスマナーを理解した受

け答えが必要になります。

オンライン説明会へ参加する事で、ミスマッチを防げる可能性はありますが、都合が合わなければ、3週間程度待つ期間が必要になる場合があります。オンライン説明会は複数回実施される事が多いですが、予め日程を把握していないと説明会への参加が難しくなり、就職活動期間が長引く事になります。

進学については、例年と変わらない状況のように感じていましたが、全体的には、厳しい結果となりました。この要因として、同じ学校を受験する学生が多かった事が考えられると思います。編入試験の場合、日程が重ならなければ複数大学の受験が可能ですが、出題範囲や傾向が大学毎に異なるため受験大学選びが難しくなります。

最後に、情報電子工学科の学生は、より幅広い分野で求められるようになっていますが、変化の激しい分野で活躍し続けるためには、卒業後の進路が就職か進学に関わらず、高専で学んだ知識をベースに、より高い専門性を身につける事が重要です。

日頃の活動が大切

5年担任 / 土木建築工学科 准教授

桑嶋 啓治



令和4年度の土木建築工学科5年生の卒業予定者は40名(男子17名、女子23名)で、男子学生よりも女子学生が多いのが特徴です。進路としては、民間企業が18名、公務員8名、大学編入5名、研究生1名、専攻科8名、であり、就職が26名、進学が14名と就職を希望する学生が多かったように思います。

三年前に担当した時との大きな違いとして、コロナ禍での進路活動という点が挙げられます。当たり前のように行われていた対面での面接が、webによる遠隔での実施に切り替わりました。しかしながら、企業側の対応もスムーズであり学生側も遠隔授業等で慣れており、問題なく実施されました。これからの時代、これが通常の形態になるように思われました。あらためて感じた事は、これからも人物評価が非常に重要視されるということだと思います。実施形態は異なっても、試験官は受験者の生の声を聞き出そうとします。そのため、準備していた回答の時、そうではない時を瞬時に見抜きます。矛盾があれば質問がより深い内容となつてきます。日頃より目上の人に敬

語を使い、積極的にコミュニケーションを取っておくことが必要です。それと、勉強以外の内容で話せることをまとめておくことが大切です。学校での課外活動以外でも良いですし、アルバイトでもかまいません。その活動でよい評価を得て結果を出すことも良いのですが、具体的な活動を通して自分が何を考え、どの様に行動に移したのかを分かりやすく伝えることが大切です。日記を見直すような作業になります。日記を見直すように頑張っているのだから、自分も頑張ろうと思いうことが大切です。

また、企業研究は当然ながら必要です。安易な気持ちで決めるのではなく、その企業がどのような活動をしているのか、自分が何をして貢献したいのかということをよく考えておく必要があります。それと、1社だけでなく同業他社の様子も幅広く調べておくことが必要です。仮に最初の活動で失敗したとしても、直ぐに次の行動に移すことが出来ます。日頃より積極的に活動し、目標を見つけて準備をして取り組みましょう。

専攻科の就職・進学活動状況 変化に対応していく力

専攻科長 / 情報電子工学科 教授

浦上 美佐子



令和4年度(2022)の専攻科修了予定者数は、機械制御工学専攻8名、情報電子工学専攻5名、環境建設工学専攻11名です。就職希望者数/進学希望者数は、機械制御工学専攻では4名/4名、情報電子工学専攻1名/4名、環境建設工学専攻8名/3名で、専攻による特徴も現れています。本年度も引き続き、本校に届いた専攻科修了生向け求人、3専攻あわせて800社近い状況でした。加えて、新型コロナウイルス拡大前よりも、多くの大学より大学院入試説明会依頼もいただき、専攻科カリキュラムを修了した学生を高く評価していただいております。

専攻科カリキュラムの特徴の一つに、企業や大学の研究室で長期に渡る実習を行う長期インターンシップがあります。インターンシップ先を決める準備から始まり、お世話になった企業の皆様をお招きした成果報告会での発表や講評までを経験します。1年前期の早い段階で、このような経験を通じて、現実の課題に取り組む訓練を積み、社会で通用する知識および不足している知識を知ることにより、現場

で活躍できることを学生自らが感じる好機になっています。特に、ウィズ・コロナに向けた新たな段階に移行するなかでの長期インターンシップを経験した学生達は、より主体的に選択し、変化に対応できる力を身に着けた上で、就職進学活動をしているように感じました。就職活動では、長期インターンシップでお世話になった企業に就職するケース、自由応募で就職先を探し、知名度の高い企業に就職先を決めたケースもありました。大学院進学では、高専専攻科修了生対象の推薦入試制度を活用したケース、トップレベルの研究拠点となる国立大学大学院を合格したケースもみられました。

最後に、本年度の就職進学活動を振り返ると、取り巻く環境がめまぐるしく変化する状況下においても、落ち着いて進路を決定していくためには、明確な目標を常に意識して、基礎を忘れず、日々の研鑽を重ねていくことが何よりも大切であると思えます。

令和4年度 就職・進学先一覧

本科

| 学科 | 機械電気工学科 | 情報電子工学科 | 土木建築工学科 |
|----------|---------------------|--------------------|------------------|
| 就職先 | (株)荏原製作所 | アイテック阪急阪神(株) | (株)NTTファシリティーズ |
| | 奥村機械製作(株) | NECネットエスアイ・サービス(株) | ENEOS(株) |
| | 京セラ(株) | (株)NTTデータSBC | 広成建設(株) |
| | 山九(株) | (株)NTTデータフロンティア | 澤田建設(株) |
| | (株)シーアールイー | 岐山化工機(株) | (株)シーエム・エンジニアリング |
| | 神鋼テクノ(株) | KDDIエンジニアリング(株) | ショーボンド建設(株) |
| | 新和工業(株) | 国際ソフトウェア(株) | 大成建設(株) |
| | テルモ(株) | コベルコンソフトサービス(株) | (株)巽設計コンサルタント |
| | 東ソー(株) | (株)西京システムサービス | 中国電力(株) |
| | 東ソー・ハイテック(株) | ソフトリンク(株) | 東京ガスネットワーク(株) |
| | (株)トクヤマ | 中国電力(株) | 東ソー(株) |
| | (株)ニシエフ | 中国電力ネットワーク(株) | (株)ネストハウス |
| | (株)日立製作所 鉄道ビジネスユニット | デルタ工業(株) | 復建調査設計(株) |
| | (株)日立ハイテク | 東ソー情報システム(株) | (株)不動テトラ |
| | 不二輸送機工業(株) | (株)トクヤマ | 前田道路(株) |
| | 三井化学(株) | (株)トクヤマ情報サービス | メタウォーター(株) |
| | 三菱重工業(株) | 徳山興産(株) | 森トラスト(株) |
| | 三菱電機エンジニアリング(株) | 西日本電信電話(株) | 周南市 |
| | メタウォーター(株) | 日鉄テックスエンジ(株) | 泉南市 |
| | (株)ワンステップワークショップ | パナソニック コネクト(株) | 光市 |
| | | (株)日立アドバンスシステムズ | 山口県 |
| | | (株)日立ハイテク | 国土交通省中国地方整備局 |
| | | (株)FIXER | |
| | 富士通(株) | | |
| | (株)富士通ゼネラル | | |
| | (株)フジテクノ | | |
| | 三菱電機エンジニアリング(株) | | |
| | メタウォーター(株) | | |
| 進学先 | 徳山工業高等専門学校専攻科 | 徳山工業高等専門学校専攻科 | 徳山工業高等専門学校専攻科 |
| | 大阪大学 工学部 | 徳山工業高等専門学校研究生 | 徳山工業高等専門学校研究生 |
| | 九州大学 工学部 | 九州工業大学 情報工学部 | 九州大学 工学部 |
| | 電気通信大学 情報処理工学域 | 筑波大学 情報学群 | 京都工芸繊維大学 工芸科学部 |
| | 東京農工大学 工学部 | 東京大学 工学部 | 豊橋技術科学大学 工学部 |
| | 東京都市大学 理工学部 | 東京都市大学 情報工学部 | 長岡技術科学大学 工学部 |
| | 東北大学 工学部 | | 山口大学 工学部 |
| | 豊橋科学技術大学 工学部 | | |
| | 長岡技術科学大学 工学部 | | |
| 広島大学 工学部 | | | |

専攻科

| 専攻 | 機械制御工学専攻 | 情報電子工学専攻 | 環境建設工学専攻 |
|--------|----------------------|-------------------------|--------------------|
| 就職先 | アーケルテクノロジーズ(株) | (株)Cygames | エルクホームズ(株) |
| | (株)ニコン | | 川田工業(株) |
| | ミズノ(株) | | 住友不動産(株) |
| | | | 積水ハウス(株) |
| | | | (株)巽設計コンサルタント |
| | | | 山口県 |
| 進学先大学院 | 東北大学大学院 工学研究科 | 九州大学大学院 システム情報科学府 | 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 |
| | 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 | 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 | 山口大学大学院 創生科学研究科 |
| | 広島大学大学院 先進理工系科学研究科 | 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 | 横浜国立大学 都市イノベーション学府 |
| | 早稲田大学大学院 情報生産システム研究科 | 早稲田大学大学院 情報生産システム研究科 | |

わたしの就職進学STORY

希望する会社や大学に就職・進学した学生はどんな学生生活をおくってきたのか？
今年度卒業・修了する学生に徳山高専の5年間・7年間を振り返ってもらいました。
徳山高専生等身大のリアルストーリーと後輩へのメッセージです。

自分一人で悩まず、
人に頼るのも大切です。

先輩に
一言



機械電気工学科 **松本 望沙**

■**研究室**
福田研究室(精密加工研究室)
■**就職先**
三菱電機エンジニアリング株式会社
名古屋事業所

私は高学年になるにつれて成績が下がっていきましたが、クラスの方に教えてもらうことでここまでやってこれました。高専は助け合いが何よりも大切だと強く思います。また、こんな私でも早い段階で就職が決まったのは、低学年の段階から会社を調べ、色々な就活のイベントに参加したからと考えています。ぜひ早めな行動を！

就職までの道のりを紹介！ 松本さんのリアルSTORY

- 本科1年**
 - 5月 ハンドボール部のマネージャーに入部。
 - 6月 専門の授業で慣れない環境に戸惑う。
- 本科2年**
 - 4月 学科でクラスが分かれ女子一人のゆえになじめなかった。
 - 11月 キャリアdayの影響で就職を考え始める。
 - 12月 希望の会社を心に決める。
- 本科3年**
 - 5月 勉強が一気に難しくなり苦しみ。
 - 12月 ロボット製作などを通して忍耐力を身に付ける。
- 本科4年**
 - 4月 実際に仕事をしてみたいから、就職を希望。
 - 5月 学校経由ではなく自分で就活アプリ等でインターンに参加。
 - 8月 自分で見つけた会社と、2年時に希望していた会社のインターンに参加。
 - 10月 自分で見つけた会社の書類選考が開始。
 - 11月 キャリアdayで三菱電機エンジニアリングに出会う。
 - 12月 見つけた会社で内定をいただいたが、三菱電機エンジニアリングのインターンから魅力を感じ悩む。
 - 3月 三菱電機エンジニアリングに内定をいただきそこに内定を決めた。
 - 6月 前期は最後の部活に全力を注ぐ。
 - 11月 卒業研究に努める。

挑戦無くして成功なし

先輩に
一言



機械電気工学科 **中本 光星**

■**研究室**
西村研究室(材料工学研究室)
■**進学先**
東北大学工学部
機械知能・航空工学科

入学してから大学編入をしたいと考えていました。その結果、勉強も部活も中途半端なかんじになってしまったことはとても後悔しています。しかし頑張っている友達や先輩の姿を見て、自分もまだまだ可能性があると信じてきました。5年の8月まで進路がなくて崖っぷちに立たされていたのですが、やる気がないときには気分転換をしながら自分のペースで頑張りました。

進学までの道のりを紹介！ 中本さんのリアルSTORY

- 本科1年**
 - アーチェリー部・メカトロシステム部に入部。
- 本科2年**
 - 短期のインターンシップでパナソニック山口工場に行く。
 - 留学に興味を持つ。
 - 香港に行ってみようとするが、現地でデモがあったため断念。
- 本科3年**
 - シンガポールの留学に応募したが、新型コロナウイルスによるパンデミックにより断念。
 - コロナウイルスによる在宅期間で全てのモチベーションを失い、友達と毎日通話しながらゲームをする。
- 本科4年**
 - 同じ研究室の先輩の話聞き、東北大学に興味を持つ。
 - 挑戦する心を持つために、第一志望校を「東北大学」に決める。
- 本科5年**
 - 8月まで進路が決まっていなかったのでとても焦っていた。
 - 8月の終わりに東北大学の編入試験を受け、無事合格。

その選択を良いものにするか
悪いものにするかは自分次第!

先輩に一言



情報電子工学科 山本 紗也

■研究室
柳澤研究室
■就職先
富士通株式会社

興味があることにはとりあえず何でも挑戦しました。振り返ってみて、行動することのハードルは低くしておいた方が、自由で充実した高専生活を過ごせると感じます。やらされた経験より、自ら動いた経験の方が得るものが大きかったです。「その選択をしたのは自分だから」と結果に責任を持つことが成長に繋がると思います。

就職までの道のりを紹介!
山本さんのリアルSTORY

本科1年

高専に入学し、水泳部に入部。就職か進学かは決めていなかった。

夏休み 水泳部女子史上初の全国高専大会のリレー種目で優勝。

10月 英語弁論大会に初めて出場。入賞できずに悔しい思いをした。

春休み 同級生4人でハッカソンに参加する。

本科2年

Webサイトの運営をスタートする(「わんみん」<https://min.pro>)

10月 英語弁論大会に出場。倉増先生に鍛えられプレゼンテーション部門で中国地区3位入賞。

本科3年

コロナの影響で、授業が約半年遠隔になった。4月に「わんみん」のYouTubeチャンネルを立ち上げる。

10月 英語弁論大会に出場。プレゼンテーション部門 全国大会で工業英語会長賞を受賞。

1月 電子工学実験が嫌いすぎて、電気の道に進むことはやめようとする。

春休み 基本情報技術者試験を受験し、合格。

本科4年

夏休み インターンシップとしてWeb系の企業で2週間働く。Web開発の仕事に就きたいと思っただけになった。

10月 英語弁論大会のチーム部門に出場する。入賞はできなかったが、1年生のときより発音とプレゼンが上手くなったと実感できた。

2月 就職したい企業を決める。

本科5年

4月にエントリーシートを提出、5月に面接を2回受け、内々定をもらう。

10月 高専祭のIE学科企画で謎解きを作成する。

卒業するとき「これしとけばよかった」と思わない時間の使い方を!

先輩に一言



情報電子工学科 山田 吏月

■研究室
増井研究室
■進学先
東京大学工学部計数工学科



自分で決めたことは良い結果も悪い結果も自分で引き受けるようにしてきました。「今やった、やらなかったという選択は何かしらの形で自分に返ってくる」と思っただけで、行動していくうちに、興味のなかった学習にも意外な面白さを感じたり、自分の得意とする分野を知ることができました。

YouTubeに数学の動画いっぱい上げてるので、ぜひ「わんみん」で検索してチャンネル登録お願いします!

進学までの道のりを紹介!
山田さんのリアルSTORY

本科1年

就職か進学かゆっくり決めようと思いきやトリアム続行、高専に入学。

7月 高専祭のお化け屋敷で電子技術班として脅かしの電子ギミックを作成。プログラミングや電子工作に実践的に触れて、自分で色々勉強してみようと考えてるように。

3月 初めてTOEICを受ける。

春休み 宇宙のハッカソンに参加。

本科2年

7月 先生に数学の洋書を薦められ、「A First Course in Calculus」(Serge Lang, Springer)を読み始める。

本科3年

4月 YouTubeデビュー。コロナの影響でオンライン授業になったのがきっかけ。

秋 応用情報技術者試験と英検準1級を取得。

本科4年

夏 数検1級を取得。

10月 『編入数学徹底研究』の解説動画を撮り始める。

本科5年

11月 研究室に配属される。プログラミングよりも数学寄りの研究がしたいと思い、増井研究室に。

7月 東大編入学試験(1次・2次)/合格

11月 IE学科企画代表。謎解きを作成。

12月 TOEIC 980点を取得。

7月 東大編入学試験(1次・2次)/合格

本科5年

11月 IE学科企画代表。謎解きを作成。

12月 TOEIC 980点を取得。

先輩に一言
5年間で何か1つでも
頑張ったって言えるように!!



土木建築工学科 江原 慧太

■研究室
コンクリート工学研究室
■就職先
国土交通省中国地方整備局

進路はブレにブレて、最終的に「より多くの人の命を守りたい」という想いから国家公務員を選びました。面接や討論以外に学力試験もあるし、合格発表が8月だし、大変な戦いでした。その中で、建設プロジェクトなど打ち込んできたことは、勉強計画から自己PRまで様々な部分で力になりました！極めるもよし！オールラウンダーを目指すもよし！頑張るあなたは美しい！

就職までの道のりを紹介！
江原さんのリアルSTORY

- **本科1年**
4月 新幹線が好きで、鉄道土木に興味をもつ。(公務員にはならないと決意する)
6月 多方面に喧嘩を売って友達を無くす。
2月 デザコン部屋での態度や先輩への暴言で、先生に2時間絞められる。(笑)
- **本科2年**
4月 友達と仲直りする。(今では、皆でテスト週間にカレーライスを食べに行く仲)
9月 鉄道土木の夜間現場見学に行つて、将来は鉄道土木をやりとうと決まりかける。
- **本科3年**
12月 好きな人の進路だったのと、大学青春ライフに憧れ、進学も意識し始める。
3月 建プロの全体統括に立候補し、コミュニケーションとマネジメント力を鍛え始める。
- **本科4年**
11月 インターンや現場見学を通して、国家公務員や研究職に大きく魅力を感じる。
12月 進学するか、就職にするか悩む。(親・先生・友達いろいろな人と相談)
2月 進路を国家公務員に決め、試験対策開始。
- **本科5年**
6月 国家公務員の中で、志望先を中国地方整備局に決定。
6月 公務員試験の連続で病む。(友達と鬼のようなペースでご飯に行き、慰めてもらう)
8月 国家公務員の試験合格、中国地方整備局に内々定。
9月 残り残っていた課外活動と、研究に全身全霊を捧げる。

先輩に一言
反省はしても
後悔はしないように!



土木建築工学科 福嶋 了麻

■研究室
中川研究室(歴史意匠研究室)
■進学前
京都工芸繊維大学工芸科学部
デザイン科学域デザイン・建築学課程

勉強したくないという不純な動機のもと入学した高専。実際に入ってみると気さくな方が多く楽しい思い出いっぱいです。編入については低学年の頃からなんとなくは考えていたのですが本格的に考え出したのは4年の夏頃です。勉強というよりも情報収集に時間を使った気がするのですが、これから受験を考えている方はSNSなど使えるものは全部使ってみてください！

進学までの道のりを紹介！
福嶋さんのリアルSTORY

- **本科1年**
ハンドボール、デザイン、音楽部に入部するも幽霊。
- **本科2年**
シンガポール短期留学予定がコロナで消える。
萎える。
- **本科3年**
コロナの影響で遠隔授業の開始つらい。
- **本科4年**
なんとなくて建築専攻に決めるよかった。
夏のオンラインオープンキャンパスに参加したが微妙。
取り敢えずTOEICの勉強を始める。
- **本科5年**
4月 数学の勉強を始める遅い。
5月 コロナに罹り専攻科に落ちる焦る。
6月 小論文の対策を始める添削してくださった先生に感謝。
7月 受験本番！幅広い年齢層の方がいてびっくり。

専攻科から就職もアリです
後輩に一言



機械制御工学専攻
中村 快

■研究室
櫻本研究室機械力学研究室
■就職先
株式会社ニコン

7年間を振り返って、与えられた課題に対してできるだけ自分の力で取り組み、日頃から視野を広く持って、なんでも良から就活や進学で使える自分のアピールポイントを作っておく、ということが大切だったなと感じています。就職や進学はあくまでもスタートなので、早いうちからその後の将来を見据えて活動すること、自分に自信を持てるようになると思います。

就職までの道のりを紹介！
中村さんのリアルSTORY

- 本科1年** 進学校での大学受験勉強に希望が持てず高専に入学。卒業後の進路はなんとなく大学編入を考えていた。
- 高専寮に入寮して社会の厳しさを知る。バドミントン部に入部。
- 本科2年** 日立ハイテクの短期(1W)インターンシップに参加し、質疑応答で質問しまくった結果とても良い評価をいただいたことから、積極性の大切さを知る。
- 本科3年** 部活動に本気で取り組み、そこそ良い成績を残す。第一種電気工事士の資格を取得。
- 本科4年** 寮の指導教官になり、後輩に社会の厳しさを教える。キャンニングイベントの短期インターンシップ(2W)に参加し、高専卒はSE(サービスエンジニア)と言われて進学することを決意。
- 本科5年** コロナの影響で前期全てがオンラインに、勉強のやる気を完全に無くし、大学編入ではなく専攻科への進学を決意。推薦で専攻科に合格し、バレーボール同好会主将を自称して空き時間のほとんどをバレーボールに費やす。
- 専攻科1年** 深江化成の長期インターンシップ(2W)に参加し、技術力のある大手企業へ就職したいと考えるようになる。研究を通じて画像関係に興味を持ち、研究室OBや知人の勧めもあってニコンを受けることを決意した。第一志望で就活を長引かせたくなかったため、推薦応募でエントリーした。
- 専攻科2年** 1次の書類審査、2次のオンライン面接、最終の対面での面接を経て4月中旬に内々定をいただく。
- 10月に対面で内定式。

いろいろなことを進んでやってみよう！後悔先に立たず！
後輩に一言



情報電子工学専攻
中谷 響

■研究室
高山研究室
■進学先
奈良先端科学技術大学院大学(NAIST) 情報科学領域

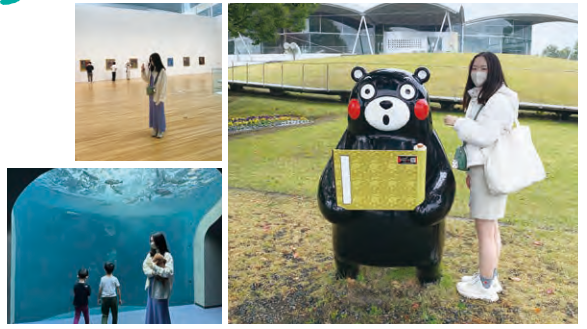
一度決めた以上は、精いっぱい努力をすることを大切としていました。この7年間で、メイン部署や研究等様々なことに苦勞してきましたが、諦めないことで充実した生活を送ることが出来ました。後輩の皆さんも、高専生活の中で、様々な困難が立ちちはだかるかと思いますが、挫けず挑戦し続けてみてください。先輩として応援しています。

進学までの道のりを紹介！
中谷さんのリアルSTORY

- 本科1年** 高専入学。進学は頭に無く、就職一筋だった。(ゲームを作れたらいいなと考えた)
- 5月 自然教室での先輩からの話で、高専からゲーム会社に就職は厳しいことを知り、現実を突きつけられる。
- 本科2年** 2、3年生のときにプログラミングコンテストの競技部門のメンバーとして参加。本格的なプログラムの厳しさを知る。
- 本科3年** 基本情報処理技術者試験に合格。高専祭のメイン部署に3、4年の2年間所属。VRの担当をし、ゲームを作ることの大変さを知る。
- 本科4年** 柳澤研究室に所属。その中で、自然言語処理の面白さに気づく。就職前にもう少し研究を続けたいと思うようになる。(就職から進学へ変更)
- 本科5年** 専攻科への推薦入試を志願。5月に合格し、進学先が決定する。
- 専攻科1年** 大学院進学はしたいと思っていたが、どこかは決まっていなかった。高山研究室に変更。自然言語処理の研究を行う。
- 先生の紹介で、横浜国立大学へのインターンを行う。
- NAISTのオープンキャンパスおよび、研究室訪問へ参加。研究室の雰囲気と教授の雰囲気が良いと考え、NAISTへの進学を決める。(受験勉強を始める)
- 専攻科2年** 5月 NAISTの推薦を受けたが、不合格。一般入試へと切り替える。
- 7月 一般試験に無事合格し、NAISTへの進学が確定する。

明日は明日の風が吹く
先輩の一言

環境建設工学専攻 **前田 明日香**



■ 研究室
建築・都市デザイン研究室
■ 就職先
積水ハウス株式会社

様々な業種のインターンシップに参加させていただき、自分の好きな住宅建築を仕事にしたいと決意することができました。ハウスメーカーへの就職は前例が少なく就活中は不安な気持ちでいっぱいでしたが、とにかく笑顔で乗り切りました。これまでの学校生活を支えてくれた同級生や先輩後輩、先生方に本当に感謝しています。最後は自分の直感を信じてください。

就職までの道のりを紹介！
前田さんのリアルSTORY

- 本科1年** 不動産業に携わる家族の影響を受け、土木建築工学科に入学。高城寮に入寮。数学が苦手な上に勉強習慣が皆無でテストに大苦戦する。
- 本科2年** 寮の友人に感化されテスト勉強を頑張り始め、席次を30台後半から10台後半まで上げる。専攻科説明会に参加し、漠然と専攻科進学を考える。
- 本科3年** セブ島の2週間語学研修に参加する。中国地区高専英語弁論大会のシングル部門で3位入賞する。
- 本科4年** 大手ゼネコンとサブコンにインターンシップに行ったものの、住宅に関心があることに気づく。専攻科進学を決める。全国高専英語弁論大会のグループ部門に出場する。
- 本科5年** 専攻科推薦要件である席次上位1/2以内にギリギリ届かず、泣きながら数学を勉強する。専攻科学力入試に合格。河野先生の授業中のお話からハウスメーカーに興味を持つ。
- 専攻科1年** 視野を広げるため建設会社・工務店・市役所のインターンシップに行った結果、住宅への思いを再認識する。TOEICを数回受け、500点台から700点台に上げる。特に就活に取り組むことなく過ごす。(マネしないで！)
- 専攻科2年** 4月 エントリーシートをハウスメーカー5社くらいに提出する。5月・6月 志望度の高い2社に絞ってオンラインや対面の面接を受ける。4次まで面接があり、結果待ちの度にメンタルが危うくなる。6月・7月 両社から内々定をいただく。第一志望であった積水ハウス株式会社の内定を承諾する。

キャリア教育支援室より

将来は日々の積み重ねの先に

皆さんは将来のことをどのよう考えていますか？いずれ社会に出て「働く」ことをイメージして高専に入学されたのではないのでしょうか。お金のため(賃金のため)、生活するためといったことは働く「目的」です。また、やりがいや自分の行動が何かの(誰かの)役に立ちたいといったことは、働くことの「意味」となります。人それぞれに理由も解釈も価値観も異なるものですが、仕事を継続していくには「働く意味や目的」はとても大切なことではないでしょうか。就職・進学どちらを選択するかを考えるとき、誰もが自分の将来の働き方と向き合うこととなります。そのため重要なことの1つが、「自分に本当に必要な情報を得る」ことです。

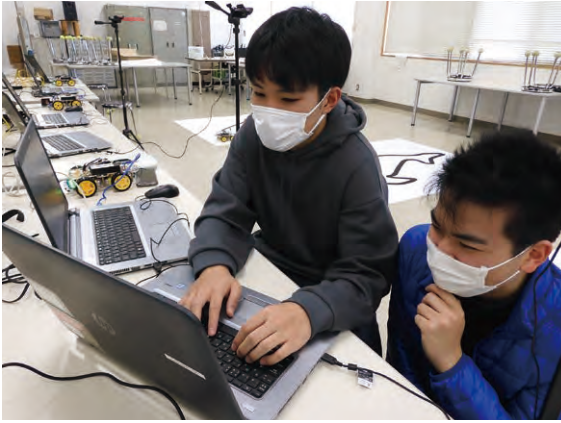
学生時代は、学校生活やアルバイトなど自分の視界に入るものの中に、重要な情報が多々あります。また、インターネットを利用すれば様々な情報に触れることが可能です。私たちの生活の中では、自然に流れてくる情報があふれているので、その流れに飲み込まれることなく、真に自分に必要な情報を探索しなければなりません。そのためには、それなりの努力と時間が必要です。

日々の生活に追われている中ではありますが、自身の将来は確実にやっています。そして、その将来は、現在の活動の積み重ねの結果であることは、まぎれもない事実です。自身の将来のために、高専で過ごす一秒一秒を大切に、自分のキャリアとして積み上げてください。

- 10月 キャリアデー・インターンシップ報告会
- 11月 5年生から1年生に向けてのアドバイス
- 12月 2年生対象 企業講座 (HONDA社)
- 1月 3年生対象 卒業生講話
- 全学年 インターンシップ事前教育



モンゴル高専生と国際技術交流



2022年3月1日(火)～3月9日(水)に、モンゴル工業技術大学付属高専、新モンゴル高専、モンゴル科学技術大学付属高専とオンラインで2件の国際的な技術交流を行いました。

国際交流活動報告

“ ライトレースカーをプログラミングして実際に動かす実験 ”



“ 「Be an inclusive designer by 3D printer!」プロジェクト ”

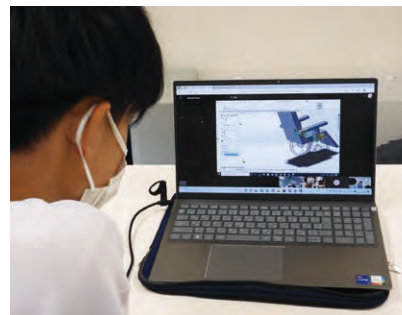
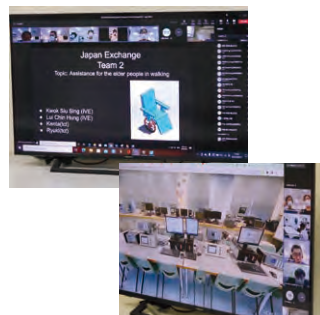
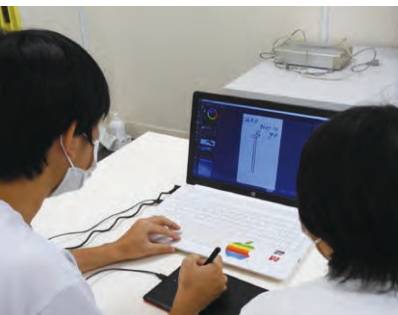


日蒙の学生が合同でデザイン開発を行う中で、交流を深め、人に役立つ技術を高めました。

今年度は、トビタテ！留学JAPANやシンガポールへの学生派遣など新型コロナウイルスの影響で中止となっており、3年ぶりの再開となりました。また、協定校の香港IVEやシンガポールポリテ

香港IVE・長野高専とのものづくり交流

“ 香港・徳山・長野の混合チームによる3DCADデザインコンペ ”



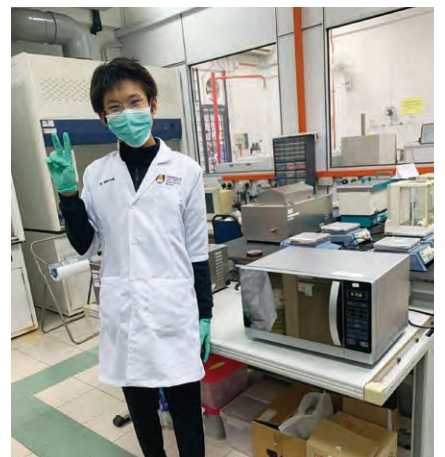
クとの学生交流はオンラインを通じて継続的に行っています。3月には、さくらサイエンスプログラムの一環として、モンゴル高専生との「技術交流」を初めて実施しました。

～ 留学体験談 ～

留学中は、Nano-SciTech Lab でルソップ研究室の学生達との交流をはじめ、コンピュータを使った材質研究ができる iMADE Lab やレーザーカッターなどの加工設備を備えた School of Mechanical Engineering での研修に参加しました。また、ナノテクノロジーセミナーや、インダストリアルコンgresの見学などにも参加させて頂く機会がありました。

留学後半では、Innovation Lab で 3D プリンターを使った作品作りに挑戦しました。基本的な設定や知識に関する講義を受けてから制作を行ったので、仕上がりがとても向上したのが印象に残っています。

官民協働留学支援制度トビタテ！留学 JAPAN 7 期生として採択された情報電子工学科 3 年生の上津原和弘さんは、8 月 21 日～9 月 25 日まで協定校のマレーシア・マラ工科大学へ短期留学をしました。



週末には、研究生たちと一緒に、大自然の中に設置された足場の上を歩くことができる Skywalk や美しい自然が広がる FRIM の森へ観光に行きました。クアラルンプールタワーやマレーシアの科学館 PETROSAINS、バトゥ洞窟の見学へも連れて行ってもらいました。彼らは、いつも親切にしてくれて、最後には、盛大な送別会も開いてくれました。マレーシアは、日本にはない魅力が盛り沢山で、とても楽しい日々を過ごすことができました。ぜひ皆さんも行ってみてください！



高城寮より

副寮長として最初の拙い自分に対し先輩方が優しく接していただき嬉しかったのは良い思い出です。また、イベントの企画や買い出し、避難訓練での避難誘導などに関わってきて、忙しく悩まされる事が多々ありましたが運営することの楽しさを経験できた一年間でした。

副寮長
情報電子工学科 3年

棚倉 凌

今年度は昨年度までの取り組みに加え、寮生の声に耳を傾けながら、より寮生のニーズに応えようと話し合ってきました。話し合い、それに基づいて企画・今までのルールに変更を加えるというプロセスはやりがいのあるものでした。また、私たちの決定に寮生の皆さんがついてきてくださり、さらにいい反響を頂いたときは大変嬉しかったです。私たちを支えてくださった寮生の皆さん、先生方、事務の方々には感謝がありません。

副寮長(女子寮長)
土木建築工学科 4年

長谷川 京香

今年一年で嬉しかったことは、寮生マッチでの男子、女子の交流をはじめとして、どの行事についても以前より寮生同士の会話が増えたことです。一年を通して寮生会、寮生のみんな、主事室の先生方、寮務の方と、たくさんの人に支えてもらい、僕個人としては、気負いせずに寮長としての役割を果たせたかなと思います。

寮生会長(男子寮長)
情報電子工学科 4年

大津 宏隆

寮の行事を盛り上げたり、テスト前の勉強会を開催したりしました。七夕会では、お化け役としてみんなを怖がらせることができました。勉強会では、学習相談員や寮務主事室の先生方に質問できるので、寮生にとって良い機会になったと思います。

指導寮生長
機械電気工学科 4年

山本 晴輝

今年度は昨年に比べコロナによる学寮行事の中止が少なかったため、以前のような活気のある学寮が復活しつつあるように感じました。イベント時の司会進行や企画の運営など学寮の多岐にわたる活動に携わり、多くの人とコミュニケーションをとれたことが楽しかったです。

内務部長
機械電気工学科 4年

安原 拓海

寮の環境にしっかりと目を向けることによって、様々なことに気がつけた一年になったと思います。寮の清掃場所の割り振りや、イベント時に1,2年生を動かし仕事の割り振りを行うなど、人を動かすことの難しさについて知ることができました。また、執行部として寮の行事を盛り上げることもとても楽しかったです。

美化厚生部長
情報電子工学科 4年

國廣 壱生



新入寮生集合写真



寮生会役員

3年 棚倉 凌 / 4年 安原 拓海 / 4年 大津 宏隆
4年 國廣 壱生 / 4年 山本 晴輝 / 4年 長谷川 京香



先輩たちとの思い出が・・・

1月 予餞会



寮なら時差の壁を超えられる!?

2月 スウェーデン交流会



元寮生会長の声が詰まる・・・感動!

2月 卒寮式



新入寮生、緊張の瞬間!

4月 入寮式



気持ちの良い汗を流した後は・・・

4月 新入寮生歓迎マッチ & BBQ



お待ちかねのバーベキュー!



寮生、ふあいとおおおっ!!

4月 定期試験前：学寮勉強会



いざと言うときの
当事者意識を育みます

5月&11月 学寮避難訓練



爆笑! 高城寮名物
「気配切り」

8月 七夕会



女子寮生×浴衣は定番です。
華やか!

8月 七夕会



寮の屋上で特別なひとときを・・・

10月 女子寮お月見会



夜の校舎で宝探し。
非日常とワクワクを!

12月 クリスマス会

学生会活動

前期・後期クラスマッチ

学生会体育局長
土木建築工学科4年

中村 元介

今年度は前期後期2回のクラスマッチを行いました。前期は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、去年同様に午前と午後で時間を分けての開催でした。後期は、感染対策を講じたうえで2年ぶりに全学年合同での開催をしました。

準備の段階から、コロナ対策と学生が最大限楽しめるようなクラスマッチになるように考えてきました。特に、会場の換気、競技前の消毒といった感染対策の徹底に苦劳しましたが、各競技の責任者の方々の協力もあり、無事に実施することができました。また当日はどちらも天候に恵まれ、例年と変わららず、とても盛り上がったクラスマッチとなりました。

前期クラスマッチは、午前の部は機械電気工学科3年、午後の部は土木建築工学科5年がそれぞれ総合優勝を果たしました。今年初めての参加だった1年生も先輩たちに負けじと全力で競技をしている姿が印象的でした。

後期クラスマッチでは、全種目で優勝クラスが異なる接戦となりましたが、機械電気工学科3年が総合優勝を勝ち取りました。また、全学年合同でのリレー種目も2年ぶりに行いました。どのクラスも全力でバトンを繋ぎ、白熱したレースとなりました。結果は専攻科が優勝しました。

今年度も新型コロナウイルスの影響で開催できるか直前まで分かりませんでした。何とか無事両日とも行うことが出来ました。また、感染対策をした上で1日通しての実施や、リレーの復活など、新しい形の開催もできたと思います。協力してくださった先生方および学生の皆さんありがとうございました。来年度も感染対策に気をつけながら学生全員が楽しめるクラスマッチを体育局と文化局で運営していきたいと思えます。

全力で
次の走者へ
バトンを
つなげます!

華麗なドリブルで
相手をかわし
シュートを打ちます!



ホームランを
狙って力いっぱい
バットを振りました!

レシーブをつなぎ
最後は豪快な
スパイクを
決めます!



高専祭

高専祭実行委員長
土木建築工学科4年

長谷川 京香

今年の高専祭は2日間開催されました。

直近の過去2年間を見てみると、コロナウイルス感染症拡大のために「昨年は高専祭自体を行うことができませんでしたが、昨年度も規制が多くコロナ以前と同じ規模で開催することが叶わない状況でした。今年度もコロナの感染状況が以前よりは落ち着きつつあるとは言えないものの、なかなか方針を決めることができず、例年より2ヶ月ほど遅れて準備がスタートしました。

準備が始まってからも大変なことが多く、意思決定が遅くなってしまったために企画をじっくり考える時間が少なくなっていました。そのため、模擬店を行うクラス・部活はもちろん、特に、企画の規模が大きい1年生やメイン企画を行うメイン部署等は大変だったと思います。それに加えて、夏休み中の学校の停電や準備をする人たちがコロナに罹ってしまうこともあったため、夏休みは全体的に準備は進められていないようでした。

夏休みが明けると、各部署・模擬店を中心に準備が本格化していきました。

放課後に柔道場でダンスをする人達や教室で企画の準備をする人達が目に入るようになり、高専祭が着実に近づいてきていることを肌で感じていました。それと共に、本当に開催できるのか、何か重要なことを見落としていないかなどの不安も大きくなっていました。

しかし、開催期間は天候に恵まれ、多くの方に足を運んでいただけました。コロナ拡大以前ほどの自由度はないものの、そのような状況下でも安心して楽しめる企画・模擬店を学生の皆さんをはじめとして先生方も一緒になって考えてくださったおかげで2日間とも賑わいを見せていました。

「昨年、昨年度に続き、準備の段階でイレギュラーな部分・トラブルの多かった今回の高専祭ですが、本当に多くの方のご協力・ご尽力により実現が叶い、本当に嬉しく思います。今回の運営を通しての気づきや反省を言語化し、次に繋いでいきたいと思います。」

模擬店の様子



外には飲食の模擬店が並び、早い段階で売り切れが出ていました。

後夜祭ステージの様子



4年生を始めとして多くの学生がこのステージのために練習を重ねていました。息の合ったダンスは迫力満点でした！

文化部作品展示の様子



談話室には文化部の作品が展示されており、秋らしく「文化」を感じる事ができました。

IE学科企画の様子



構内を回りながら様々な謎を解きました。作り込まれた謎と世界観に全員が時を忘れて熱中していました。

留学生だより



留学生のみなさんに英語で自己紹介をしていただきました。
留学を決めた理由や興味をもっていることなど…
より親近感を持ち、お互いを知るきっかけになればと思います。

機械電気工学科4年 エルヘム モンゴル

Hi everyone. My name is Erkhembileg (エルヘム), I'm from Mongolia. In my country we don't use our surname that much, so you can call me エルヘム even if we don't know each other yet.

I started watching anime since first year of middle school. But after living in Japan for a while started reading some manga too. Specially sports anime/manga (haikyuu, blue lock, slam dunk, yowamushi pedal) or fighting (shumatsu no valkyrie, kingdom).

But usually in my free time I play fps games like Valorant, CSGO with my friends. It seems like most Japanese fps gamers play Apex but never tried it before.

My biggest hobby, most entertaining thing for me is basketball. Even though I like to watch NBA games more than playing. Specially team called Utah Jazz which is the one I have been rooting for 7 years. For baseball I don't even know the basics. Although some mongolian athletes

are good in sumo league, in Mongolia it's somewhat small sport. So I don't know anything about it except few Mongolian names I heard.

Studying abroad is hard. Especially if you have dyslexia like me. But same time it's fun. Mongolia is small country

with only one megacity. So I decided to go abroad. Getting out of my comfort zone, learning new culture, meeting new people, overcoming language barrier, finding new opportunities. And after 2 years of studying I think I learnt many things that I couldn't learn no matter what if I stayed back in Mongolia.



情報電子工学科3年 ササエ モンゴル

Hi, I hope you all having a nice day.

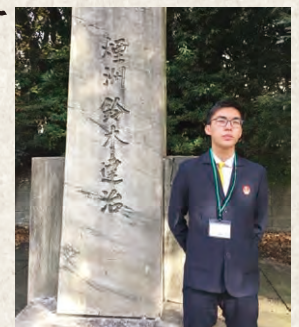
My name is Enkhbold Munkhtushig. I let people call me "Sasae" in Japan. In particular reason for circumstance is people call me "Tushig" in my country which means support and my friend gave me this Japanese version of my name "Sasae". Another reason why I am using name is it is much easier to pronounce for Japanese people.

I am studying in Information Electronics Department's 3rd year in this collage. I have been using computer. Since when I was four years old and I like challenges. Programming is challenge itself so I want to be a software engineer.

Mongolia is poor country. Not exactly poor we are

blessed with natural resource and high adaptability, but we aren't living abundant life because of poor management of government and lack of educational knowledge. In order to get out of situation

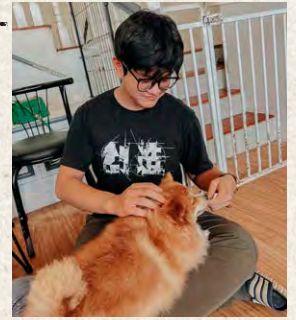
we are in at the moment we need more promising engineers. Thus I would like to be one of them and contribute my country's development. Japan is considered best country in the engineering field in Asia. I want to learn from the best. That's the reason I came to Japan.



土木建築工学科4年 **スメイ**  **カンボジア**

Hello everyone! I am Smey from CA year 4 class. I was born and raised in Cambodia and I've come to Japan for about 2 years now. I can speak English but I'm not very fluent in Japanese so I'm trying to improve it day by day. In my free time I enjoy watching movies/TV shows, listening to musics and sometimes also playing games. One of my all times favorite game and anime is Pokémon. I've played it since I was little and still keep up with it till now. The Pokémon that I like the most is Emolga (エモンガ). I listen to all sorts

of musics including English songs, Japanese songs and K-pop songs. Musics and TV shows are good hobbies where you can hone your language skill. If you're looking to improve your English, I recommend a comedy show called "friends". It helped me a lot with learning English and it's very entertaining at the same time.

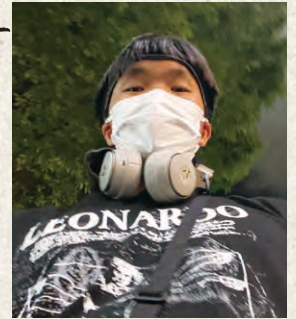


土木建築工学科4年 **ドーギー**  **モンゴル**

My name is Dorjderem Dorjrenchin. People call me Doogii since I was 3. I'm studying a 4th year civil engineering and architecture student at Tokuyama Kosen. I was born and raised in Arvaikheer, a city of Mongolia.

I have a lot of favorite things. Having a lot of hobbies means less time to study. But I always try to spend more time studying. I am interested in all of sports, but my favorite sports is basketball because it's exciting. When I do sports, I forget all of my problems and enjoy it. Beside sports, I also like to watch movies and anime.

My favorite anime is Naruto and Kingdom. I recently found a new hobby of reading books that published in English. I believe that reading book in English improves my English skill and I can also learn a lot of things from the books. I like to spend time with people who make me forget I have a smartphone. My rule in my life is not to waste time and things. I really hate to waste anything.



土木建築工学科3年 **ナディア**  **インドネシア**

Hi, my name is Nadya Rahmadhany. I came from Indonesia and now currently studying as a 3rd year student (CA3). I guess a lot of people have seen me around at school but didn't have the chance to talk so I'm going to tell you a little bit about myself. I came from a city called "Medan" in indonesia. It is a pretty big city and a fun place to live in. My hobbies are watching movies and playing games. I watch horror movies, superhero movies, action movies, anime (ONE PIECE, BLACK CLOVER, 転スラ, etc), and basically just anything. I played Resident Evil (BIOHAZARD) 7, 8, OUTLAST 1, 2, Beat Saber, and other games too. If you have the same hobby or just want to talk I would be very happy to get to know you or you can talk to me on my social media

(instagram: nanadventure.jpg). I also like traveling but I just don't have many friends here, so if anyone invite me I would be very happy to join you (boys or girls I don't care feel free to invite me to anything). I can speak 2 indonesian traditional language, bahasa (indonesia's official language), malay language, english, and japanese. If anyone is interested in speaking english with me, please don't hesitate to reach out. Even if I may not seem to have a friendly face, I can make sure I'm a fun person if you get to know me so よろしく!



高城会オリジナルトートバッグができました

高城会理事長 機械電気工学科15期卒 現機械電気工学科教員 張間 貴史

令和3年度の高城会理事会で母校支援を複数事業行い、そのうちの一つである「学生へのオリジナルトートバッグ寄贈」を今年度も継続しています。生地は12ozのキャンバス生地、大きさは約380×420×130mmのMLサイズで、「こうせん」と読めるロゴ風デザインです。大型のノートパソコンを横向きに入れられますので、BYOD端末を入れて持ち歩いたり、教科書やジャージを入れたり、エコ

バッグとして買い物に使ったり、学内外で有効に活用してくれることを願っています。なお、このトートバッグは本校の売店(注：授業日のみの営業です)にて1,350円で販売しております。来校されたとなくても購入していただけますので、是非ご利用ください。



談ラン会

学生と教員との意見交換

2022年6月20日(月)の放課後、「徳山高専の、エアコン(空調)問題を考える」をテーマに談ラン会を開催しました。学生は各クラスの代表や学生会メンバー、教員は校長、副校長と関係の教職員です。時節柄本来の「ランチを食べながらの談話会」とはならず、お茶もスイーツもない談話会でしたが、活発に意見交換がなされました。

談ラン会の結果を受けて、夏季のエアコンの運転期間や運転時間の改善が行われました。また、サーキュレーター設置による教室内の冷氣循環の

試行も行いましたが、こちらは満足いく結果とはならず、今後の課題となりました。テーマ以外の意見についても、学校の各部署で改善につながったものもあり、学生の意見によって学校の改善が行われるという談ラン会の本来の趣旨はある程度達成できたと感じており、定期的に開催したいと思います。

(総合企画室主務 張間貴史)



編集後記



今回「高専だより」の発行に関しまして、各方面における皆様のご協力をありがとうございました。特に、短い執筆期間にも関わらず、寄稿していただいた執筆者の方々には感謝申し上げます。2022年度も感染症対策を講じながら様々な学校行事が行われ、学生の生き生きとした表情が印象的でした。

学外コンテストも徐々に対面での開催が増え、他高専との交流もあり、オンラインでの参加が主流だった学生にとって貴重な経験となったのではないかと思います。来年度も社会の変化に対応しながら、より充実した学生生活を送れることを願っています。

(高専だより編集委員 柳本萌子)



高専ロボコン 2022

ミラクル★フライ

~空へ舞い上がれ!~



本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構 (JABEE) からの認定を受けています。



COLLEGE OF TECHNOLOGY
ACCREDITED
March 2020

本校は、令和元年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていると認定されました。平成 18 年度に同機構による認証評価を得ており、引き続き認定されたものです。



徳山高専だより No.76

発行 徳山工業高等専門学校 総合企画室
所在地 〒745-8585 山口県周南市学園台
TEL (0834)29-6200 (代表)
FAX (0834)28-7605 (代表)
印刷 株式会社新周南新聞社
発行日 2023年(令和5年)3月1日
URL <https://www.tokuyama.ac.jp/>